

令和元年度

教育委員会の点検・評価報告書

(平成30年度事業分)

令和元年6月

豊岡市教育委員会

## 目 次

I	教育委員会活動等の点検・評価について	1
II	教育委員会会議及び教育委員の活動	3
	1 教育委員会の概要	
	2 教育委員会会議の開催状況	
	3 教育委員会会議以外の活動状況	
	4 教育委員活動のまとめ	
III	教育委員会施策の点検・評価	13
	・ 第3次とよおか教育プラン平成30年度実践計画の検証について	
	・ 第3次とよおか教育プラン平成30年度実践計画 施策・取組一覧	
	・ 第3次とよおか教育プラン平成30年度実践計画 検証総括シート	
	【基本方針 1 夢実現力を育む教育の推進】	
	基本的方向 1 「あたまの力」の育成	
	基本的方向 2 「こころの力」の育成	
	基本的方向 3 「からだの力」の育成	
	基本的方向 4 「あたま・こころ・からだの3つの力を支える基礎力」の育成	
	基本的方向 5 特別支援教育の充実	
	【基本方針 2 子どもたちの学びを支える仕組みの確立】	
	基本的方向 1 学校園の組織力及び教職員の資質能力の向上	
	基本的方向 2 安全・安心な教育環境の整備	
	基本的方向 3 家庭の教育力の向上	
	基本的方向 4 地域全体で子どもを育てる環境づくりの推進	
IV	外部有識者の総評	49

# I 教育委員会活動等の点検・評価について

## 1 趣 旨

豊岡市教育委員会では、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき、平成20年度から教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を行っています。

本年度も法の趣旨に基づき、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民に対する説明責任を果たすため、平成30年度の教育施策の実施状況について点検及び評価を行いました。

この点検・評価の結果を踏まえ、今後の教育行政施策の改善や見直しに努めるとともに、教育環境の整備・充実に努めてまいりますので、市民の皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

### ■参考■

#### 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## 2 実施方法

豊岡市教育委員会活動の実績報告と「第3次とよおか教育プラン（平成27年2月策定）」を基に策定した「平成30年度実践計画（平成30年3月策定）」に位置付けた施策・取組について点検及び評価を行い、その結果について報告書を作成し、議会に提出するとともに、市ホームページへの掲載等により公表します。

## 3 教育委員会活動等の点検・評価の方法

### (1) 教育委員会会議及び教育委員の活動

毎月定例的に開催される教育委員会会議の開催状況、審査議案、報告事項、さらに学校訪問をはじめとする教育関係施設や各種事業の視察、委員研修、大会への参加状況等を記載しています。

## (2) 教育委員会施策の点検・評価

点検・評価する事業は、第3次とよおか教育プラン平成30年度実践計画に位置付けた全ての施策・取組を対象とします。

点検・評価の方法は、年度途中において学校現場及び各担当課による自己検証のほか、検証委員会による外部検証を行うとともに、年度末において教育委員会による最終検証を行いました。

## (3) 外部有識者の総評

点検及び評価にあたり、点検評価の客観性を確保するとともに、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るため、外部評価を依頼し、教育委員会が実施した事業について、公正・的確な意見を述べていただくこととしました。

外部評価は、本市の小中連携教育の推進など、豊岡の教育行政に深く携わっていただいている関西学院大学学長特命・教育学部教授の佐藤真氏にお願いしました。

## Ⅱ 教育委員会会議及び 教育委員の活動

## 1 教育委員会の概要

教育委員会は、首長から独立した行政委員会として、全ての都道府県及び市町村に設置されており、教育行政における重要事項や方針を決定し、教育長が具体的な事務を執行しています。

豊岡市では、平成29年5月17日に新制度による教育長の任命が行われました。豊岡市教育委員会は、教育長と4人の委員をもって組織され、地方における教育行政の中心的な担い手としてその役割を果たすことが求められています。

豊岡市教育委員会委員名簿 (平成30年度)

職名	氏名	任期
教育長	嶋 公 治	平成29年5月17日～平成32年5月16日
委員 (委員長) (教育長職務代理者)	深 田 勇	平成27年5月17日～平成31年5月16日 (委員長 平成27年5月17日～平成29年5月16日) (教育長職務代理者 平成29年5月17日～)
委 員	中 川 茂	平成26年5月17日～平成30年5月16日
	佐 伯 和 亜	平成28年5月17日～平成32年5月16日
	向 井 美 紀	平成29年5月17日～平成33年5月16日
	飯 田 正 巳	平成30年5月17日～平成34年5月16日

## 2 教育委員会会議の開催状況

教育委員会会議は、原則として毎月1回「教育委員会定例会」を、緊急的な協議議題等があれば必要に応じて「教育委員会臨時会」を開催することとしており、教育行政の基本方針や重要施策等を決定しています。

また、市民に身近で開かれた教育委員会となるよう、平成21年度から各地域の庁舎や教育施設を利用した移動教育委員会を実施しています。

平成30年度は18回の会議を開催し、人事案件や規則、予算案など合計34件の議案について審議を行うとともに、35件の報告・協議を行い、教育行政の方針等を決定しました。

- ◆教育委員会定例会 12回
- ◆教育委員会臨時会 6回 合計18回 (うち移動教育委員会3回開催)

### 【議案審議内容】

- |                                   |    |
|-----------------------------------|----|
| (1) 教育に関する事務の管理及び執行の基本的な方針に関する事   | 5件 |
| (2) 教育委員会規則の制定及び改廃に関する事           | 6件 |
| (3) 職員(教職員を含む)の人事に関する事            | 8件 |
| (4) 法令又は条例に定めのある附属機関の委員の委嘱に関する事   | 4件 |
| (5) 教育予算に関する事                     | 5件 |
| (6) 教育財産の取得・用途廃止、所管換等に関する事        | 3件 |
| (7) 指定文化財に関する事                    | 0件 |
| (8) その他(附属機関以外の委員の委嘱、物品購入契約の締結など) | 3件 |

● 教育委員会会議開催状況

会議区分	開催日	開催場所
第1回定例会	平成30年4月25日(水)	本庁舎 第3委員会室
第2回定例会	平成30年5月17日(木)	本庁舎 第3委員会室
臨時会	平成30年6月12日(火)	本庁舎 6-1会議室
第3回定例会	平成30年6月21日(木)	※寺坂小学校ランチルーム
臨時会	平成30年6月21日(木)	寺坂小学校ランチルーム
第4回定例会	平成30年7月18日(水)	本庁舎 庁議室
第5回定例会	平成30年8月17日(金)	本庁舎 第3委員会室
第6回定例会	平成30年9月26日(水)	本庁舎 庁議室
第7回定例会	平成30年10月29日(月)	※中竹野小学校 図書室
臨時会	平成30年11月19日(月)	本庁舎 第3委員会室
第8回定例会	平成30年11月20日(火)	※高橋小学校ランチルーム
臨時会	平成30年11月29日(木)	本庁舎 庁議室
第9回定例会	平成30年12月21日(金)	本庁舎 庁議室
第10回定例会	平成31年1月21日(月)	本庁舎 庁議室
第11回定例会	平成31年2月15日(金)	本庁舎 庁議室
臨時会	平成31年2月22日(金)	本庁舎 教育長室
臨時会	平成31年3月11日(月)	本庁舎 教育長室
第12回定例会	平成31年3月22日(金)	本庁舎 庁議室

※移動教育委員会 3回

● 平成30年度 教育委員会会議審議案件等一覧

第1回定例会 平成30年4月25日(水)	
審議案件	
議案第1号	豊岡市学校給食センター運営委員会委員の任命について…可決
議案第2号	豊岡市奨学生選考委員会委員の委嘱について…可決
報告案件	
報告第1号	豊岡市子どものための教育・保育に関する利用者負担額を定める条例施行規則の制定について
報告第2号	寄附物件の受納について

第2回定例会 平成30年5月17日(木)	
審議案件	
議案第3号	物件購入契約の締結に関する意見について・・・可決
議案第4号	平成30年度6月補正教育関係予算案に関する意見について・・・承認
報告案件	
報告第3号	寄附物件の受納について
協議案件	
教育委員会の点検・評価報告書について	
教育委員が務める各種協議会等の委員について	
平成30年度の教育委員会活動計画について	

臨時会 平成30年6月12日(火)	
審議案件	
議案第5号	史跡指定にかかる不適切な事務処理事案の対応について・・・決定
議案第6号	豊岡市職員懲戒審査委員会への諮問について・・・可決

第3回定例会 平成30年6月21日(木)	
審議案件	
議案第7号	豊岡市奨学生の選考について・・・可決
議案第8号	平成30年度教育委員会の点検・評価報告書の決定について・・・可決
報告案件	
報告第4号	豊岡市学校給食センター運営委員会委員の任命について
報告第5号	寄附物件の受納について
報告第6号	平成30年6月市議会答弁概要について

臨時会 平成30年6月21日(木)	
報告案件	
報告第7号	但馬国分寺跡史跡追加指定に係る私文書偽造等に伴う処分について
審議案件	
議案第9号	豊岡市教育委員会事務局職員の処分について・・・可決

第4回定例会 平成30年7月18日(水)	
審議案件	
議案第10号	教育財産の用途廃止について・・・可決
報告案件	
報告第8号	寄附物件の受納について
報告第9号	教育長が臨時に代理した平成30年度7月専決補正教育関係予算案に関する意見について承認を求めることについて

第5回定例会 平成30年8月17日(金)	
審議案件	



議案第11号	平成31年度使用教科用図書「特別の教科 道徳」の採択について・・・可決
議案第12号	教育財産の用途廃止について・・・可決
議案第13号	平成30年度9月補正教育関係予算案に関する意見について・・・承認
報告案件	
報告第10号	教育長が臨時に代理した平成30年度7月専決補正（7月豪雨災害対応分）教育関係予算案に関する意見について承認を求めることについて
報告第11号	教育長が臨時に代理した平成30年8月専決補正教育関係予算案に関する意見について承認を求めることについて
報告第12号	寄附物件の受納について

第6回定例会 平成30年9月26日（水）	
報告案件	
報告第13号	豊岡市子どものための教育・保育に関する利用者負担額を定める条例施行規則の一部を改正する規則制定について
報告第14号	平成30年9月市議会答弁概要について
報告第15号	寄附物件の受納について

第7回定例会 平成30年10月29日（月）	
審議案件	
議案第14号	豊岡市社会教育委員の委嘱について・・・可決
報告案件	
報告第16号	教育長が臨時に代理した平成30年度10月専決補正教育関係予算案に関する意見について承認を求めることについて
報告第17号	豊岡市補助金等交付要綱の一部を改正する要綱制定について
報告第18号	豊岡市利用者負担額軽減事業実施要綱の一部を改正する要綱制定について
報告第19号	寄附物件の受納について

臨時会 平成30年11月19日（月）	
審議案件	
議案第15号	史跡国分寺跡土地買上げ事業に係る不適切な事務処理事案の対応について・・・決定
議案第16号	豊岡市職員懲戒審査委員会への諮問について・・・可決

第8回定例会 平成30年11月20日（火）	
審議案件	
議案第17号	損害賠償の額を定めることに関する意見について・・・可決
議案第18号	平成30年度12月補正教育関係予算案に関する意見について・・・承認
報告案件	
報告第20号	寄附物件の返納について
報告第21号	寄附物件の受納について
協議案件	
豊岡市奨学金規則の改正について	

臨時会	平成30年11月29日（木）
報告案件	報告第22号 史跡国分寺跡土地買上げ事業にかかる不適切な事務処理に伴う処分について（意見具申）
審議案件	議案第19号 豊岡市教育委員会事務局職員の処分について・・・可決

第9回定例会	平成30年12月21日（金）
審議案件	議案第20号 豊岡市出石伝統的建造物群保存地区保存計画の変更について・・・可決
	議案第21号 豊岡市奨学金規則の一部を改正する規則制定について・・・可決
	議案第22号 豊岡市交通遺児奨学金規則の一部を改正する規則制定について・・・可決
報告案件	報告第23号 豊岡市補助金等交付要綱の一部を改正する要綱制定について
	報告第24号 教育長が臨時に代理した平成30年度12月追加補正教育関係予算案に関する意見について承認を求めることについて
	報告第25号 平成30年12月市議会答弁概要について
	報告第26号 寄附物件の受納について

第10回定例会	平成31年1月21日（月）
報告案件	報告第27号 寄附物件の受納について

第11回定例会	平成31年2月15日（金）
審議案件	議案第23号 豊岡市伝統的建造物群保存審議会委員の任命について・・・可決
	議案第24号 平成31年度教育行政の方針と施策の展開について・・・可決
	議案第25号 平成30年度3月補正教育関係予算案に関する意見について・・・承認
	議案第26号 平成31年度当初教育関係予算案に関する意見について・・・承認
報告案件	報告第28号 寄附物件の受納について

臨時会	平成31年2月22日（金）
審議案件	議案第27号 豊岡市立学校教職員（管理職）の人事（内申）について・・・可決

臨時会	平成31年3月11日（月）
審議案件	議案第28号 豊岡市立学校教職員（一般）の人事（内申）について・・・可決

第12回定例会 平成31年3月22日(金)

審議案件

議案第29号	豊岡市教育委員会事務局等組織規則の一部を改正する規則制定について・・・可決
議案第30号	豊岡市教育委員会職名規則の一部を改正する規則制定について・・・可決
議案第31号	豊岡市通学用バス運行管理規則の一部を改正する規則制定について・・・可決
議案第32号	豊岡市立学校職員の服務に関する規程の一部を改正する訓令制定について・・・可決
議案第33号	教育財産の管理について・・・可決
議案第34号	第3次とよおか教育プラン平成31年度実践計画の制定について・・・可決

報告案件

報告第29号	平成30年3月市議会答弁概要について
報告第30号	寄附物件の受納について
報告第31号	豊岡市就学援助費支給規則の一部を改正する規則制定について

### 3 教育委員会会議以外の活動状況

(1) 総合教育会議

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正により、平成27年度から地方公共団体の長と教育委員会で構成する総合教育会議の設置が義務付けられました。

これを受けて、次のとおり会議を開催しました。

ア 第1回総合教育会議

- ・日 時 平成30年5月31日(木) 午後1時30分から午後3時まで
- ・場 所 本庁舎 庁議室
- ・内 容
  - ・公共施設マネジメントについて
  - ・こども支援センターの相談支援の状況について

イ 第2回総合教育会議

- ・日 時 平成30年11月29日(木) 午後1時30分から午後3時30分まで
- ・場 所 本庁舎 庁議室
- ・内 容
  - ・専門職大学との連携について
  - ・英語遊び保育・英語教育について

(2) 教育懇談会

教育委員会では、平成21年度から市が進めている教育施策の内容を市民に理解していただくとともに、教育委員と市民との対話を通して市民の声を教育行政に反映することを目的として教育懇談会を開催しています。

平成30年度は、小規模校の抱える課題とその対応策について、教育委員と児童数50名以下の小学校9校の代表者が意見交換会を実施しました。

- ・日 時 平成30年8月17日(金) 午後3時30分～午後5時
- ・場 所 本庁舎 5-1・5-2会議室
- ・内 容
  - ・各小学校の現状、課題、対応策について

(3) 教育委員会会議以外の活動状況一覧

月	市議会	学校訪問・学校園行事	視察、研修会、各種委員会	その他行事等
4		教職員辞令交付式 校園長会挨拶 小学校入学式 中学校入学式 幼稚園・認定こども園入園式	兵庫県女性教育委員の会幹事会（神戸市） 教育委員協議会（とよおか教育プラン）	CANETTE—稲葉猛作品展 開会式 （市立美術館）
5	臨時会	校園長会挨拶（新任委員） 自然学校、トライやるウィーク視察	兵庫県市町村教育委員会連合会理事会・総会、全県教育委員会研修会（西宮市） 教育委員協議会（総合教育会議研修） 豊岡市小中一貫教育推進協議会 第1回総合教育会議	
6	定例会	小野小学校プール竣工式 学校園訪問（竹野小・高橋認可）	豊岡市奨学生選考委員会 教育委員学習会（小規模小学校：寺坂小） 第1回但馬教科用図書採択地区協議会（養父市）	豊岡市PTCA事業「子どものことを考える会」（市民プラザ） 植村直己冒険賞 授賞式・記念講演会（日高文化体育館）
7		学校園訪問（日高幼・福住幼・福住小・港東小） 豊岡の教育を語る会（小中学校校長会との懇話会）	豊岡市要保護児童対策協議会代表者会 但馬教育委員連合会理事会・総会・研修会（養父市） 但馬地区新旧女性教育委員情報交流会（養父市） 豊岡市男女協働参画社会推進懇話会	図書館リニューアル竣工式典（市立図書館） 夏休みラジオ体操顔見知り運動一斉ラジオ体操（各校区）
8		豊岡の教育を語る会（小中学校教頭会との懇話会） 豊岡市中学校生徒会リーダー研修会	豊岡市教育フォーラム 第2回但馬教育用図書採択地区協議会（養父市） 教育懇談会（小規模小学校の現状と課題） 全県夏季教育委員会研修会（神戸市） 豊岡市学校管理職研修会（教頭） 選択制研修講座「特別支援教育」 豊岡市進学対策協議会	夏休みラジオ体操顔見知り運動一斉ラジオ体操（各校区） 兵庫県人権教育研究大会但馬地区大会（市民会館） 子ども歌舞伎ワークショップ（出石永楽館） 東井義雄創生塾研究会・教育塾講演会（但東市民センター） 但馬教育塔合記祭（但馬文教府）
9	定例会	中学校体育祭訪問 小学校運動会訪問 幼稚園・認定こども園運動会	教育委員協議会（とよおか教育プラン）	
10		幼稚園運動会 学校園訪問（中竹小・三方小・八条認可・竹野認可・城崎中・城崎小）	県女性教育委員の会 総会・研修会（小野市） 教育委員学習会（小規模小学校：中竹野小）	
11		学校園訪問（日高西中・田鶴野小・田鶴野幼）	但馬地区女性教育委員の会 研修会（養父市：建屋小） 教育委員協議会（総合教育会議研修） 教育委員学習会（小規模小学校：高橋小） 兵庫県市町村教育委員会連合会新任職員研修会（神戸市） 第2回総合教育会議	豊岡市美術展表彰式（じばさんセンター） 出石町青少年健全育成推進大会（出石文化会館）
12	定例会	コミュニケーション教育授業「サタクロース会議」参観（市民プラザ・出石永楽館）		市民ふれあいのつどいパート2兼PTCA地区別研究大会「豊岡の子どもを育てる会」（市民プラザ） 児童虐待防止講演会（市民プラザ）
1			教育委員視察研修会（姫路市・福知山市）	豊岡市成人式（市民会館） 人権 音楽とお話のつどい（市民プラザ）
2			豊岡市小中一貫教育推進協議会 教育委員協議会（とよおか教育プラン）	2018「植村直己冒険賞」受賞者発表（府中小学校）
3	定例会	中学校卒業式 幼稚園・認定こども園卒園式 小学校卒業式		

#### 4 教育委員活動のまとめ

教育委員会では、本市の教育理念『ふるさと豊岡を愛し 夢の実現に向け挑戦する子どもの育成～夢実現力（なりたい自分になるためにがんばりぬく力）を子どもたちに～』を示した第3次とよおか教育プランに基づき、“常に子どもの事実学び、子どもに寄り添う教育”を基本姿勢とした教育施策を展開し、毎年度定める実践計画に掲げる施策の取組を推進しました。

教育行政の効果的な推進に当たっては、市民や保護者の教育に対する理解と協力が必要不可欠であると考えています。そのため、市民に身近で開かれた教育委員会となるよう、各地域で移動教育委員会会議を実施するほか、「豊岡きょういく」を発行し、教育情報の発信に努めました。

また、近年、児童数が減少しており、今後、これまで以上に減少していくことが想定され、教育上の課題が生じる状況となっています。そのため、小規模校の現状を把握するとともに認識を深めるため、児童数50名以下の小学校長との意見交換を行う教育懇談会や小規模校を訪問する地域学習会を行いました。

また、小中一貫教育に先進的に取り組んでいる学校への視察を行いました。子どもたちにとって適正な教育環境なのかを評価の基準として、さらに検討していきたいと考えております。

今年度は、市内のすべての公立小中学校で小中一貫教育がスタートして、2年目となります。

各一貫ブロックでめざす子ども像を共有し、その実現のため、連続性・系統性を意識した教育活動を進め、今後もすべての中学校区において、実態に即した確実な実践を行っていくことが必要だと考えております。

就学前の保育・教育活動については、引き続き、市内の各保育園、幼稚園、認定こども園の4・5歳児クラスを対象に英語遊び指導員を定期的に派遣する英語遊び保育を実施しました。子どもたちは、簡単な動作を表す言葉にも自然に反応し、いきいきとした表情で英語遊びに参加する姿が見られました。今後も就学前の子どもたちだからこそ楽しめる活動を通し、英語や異文化への興味を育てていきたいと考えております。

教育環境の整備については、安心な教育環境を確保するため、屋外における安全対策として、危険ブロック塀等の対策工事を進め、小中学校の屋内運動場等吊り天井落下防止対策工事や吊り天井以外の非構造部材の落下防止対策工事を進めました。

教育環境の向上を図るため、平成30年夏からすべての中学校で空調設備工事を実施し教室等の冷房使用を開始しました。また、今年の夏の災害級の猛暑対策として、急遽小学校における空調設備工事に着手しました。2020年夏までに全学校園での稼働に向け、順次、設置工事を進めていきます。

本市教育委員会においても、教職員の勤務時間の適正化と学校教育の質の向上を図る取組を進めていますが、その一つとして、市内の全公立小中学校に統合型校務支援システムを導入しました。引き続き、業務改善を図るとともに、学校現場における働き方の見直しに向けた意識改革を推進します。

すべての関係者が「働き方改革」の理念を共有し、それぞれの取組を実行することが求められています。

豊岡市教育委員会では、“常に子どもの事実に学び、子どもに寄り添う教育”を合言葉に、学校園・家庭・地域・行政がそれぞれの寄り添い方で、それぞれの役割を担い、連携しながら基本理念の共有と実践活動に邁進していきます。

### Ⅲ 教育委員会施策の 点検・評価

〔第3次とよおか教育プラン〕  
平成30年度実践計画  
検証総括シート

## 第3次とよおか教育プラン平成30年度実践計画の検証について

### 1 実施方法

平成30年度実践計画に定められている指標について、年度途中において学校現場及び担当課による自己検証のほか、検証委員会による外部検証を行うとともに、年度末において教育委員会による最終検証を行った。

### 2 検証結果の示し方

検証結果は、2つの基本方針で定められた9つの基本的方向ごとに「検証総括シート」を作成し、各々で設定された指標及び施策・取組の検証、中間検証における外部検証意見をとりまとめた。

また、中間外部検証結果及び次年度実践計画策定作業を踏まえ、年度末における最終検証をとりまとめた。

### 3 表記・記号の説明

#### (1) 指標項目について

##### ア 「■」印の指標項目

全国学力・学習状況調査（毎年4月20日頃実施・8月下旬結果公表）の結果の数値を使用。従って、実施年度の数値は前年度の取組が反映すると捉えられるが、実施年度の結果を目標値に対応させて評価することとする。

##### イ 「□」印の指標項目

全国学力・学習状況調査以外の全国調査や各担当課による独自調査、取組による結果の数値を使用。

#### (2) 指標数値について

##### ア H29現状値

- ・原則は平成29年度の実績値を表記するが、取組によっては前年度の実績値を表記する。この場合においては、当該年度を〔 〕で表記する。
- ・H29現状値のうち、（ ）内は対H29目標差を、○印はH28現状値よりも改善した指標を表す。

##### イ H31目標値

- ・第3次とよおか教育プランは、計画終期まであと2年になることから、これまでの3年間を振り返り、2年後にあるべき姿を見据えて、平成31年度目標値を設定する。



- ・ H31目標値のうち、( ) 内は対H29差を表す。

ウ H31指標の実現状況

- ・ 原則は平成30年度の実績値を表記するが、取組によっては前年度の実績値を表記するものがある。この場合は [ ] 内に当該年度を表記する。
- ・ H31指標の実現状況のうち、( ) 内は対H31目標差を、「○」印はH29現状値よりも改善した指標を表す。

(3) 教育委員会（担当課）及び検証委員会による検証結果の評価記号

教育委員会（担当課）検証（中間・年度末）		検証委員検証	
S	目標達成・取組完了（目標達成、事業計画完了による取組終了）	○	妥当
A	継続実施（拡充・現行方法による継続実施）	△	疑義あり
B	改善実施（取組の改善・見直しによる継続実施）	—	評価不能
C	抜本的見直し（取組を継続する場合は抜本的な見直しが必要）	※担当した検証委員3名の検証を記載する。	
D	未取組廃止（効果・必要性等から取組を廃止）		

## 第3次とよおか教育プラン 平成30年度実践計画 施策・取組一覧

基本方針1 夢実現力を育む教育の推進		担当課
<b>基本的方向1 「あたまの力」の育成</b> <span style="float: right;">… P. 20</span>		
<b>施策⑦ 全国学力・学習状況調査の結果等を踏まえた学方向上策</b>		
1	1 市及び各小・中学校の分析結果と対応策の作成及び「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進 <拡>	こども教育課
2	2 「授業を核にした小中一貫教育の充実に係る研究」の推進	
3	3 読書活動の習慣化と読書の質の向上を目指した読書活動の推進	
4	4 きめ細かな指導の充実を図るための指導補助教員の配置	
<b>施策⑧ 小中一貫教育を核とした連携教育</b>		
5	1 ふるさと教育の推進 <新>	こども教育課
6	2 英語教育の推進 <新>	
7	3 コミュニケーション教育の推進 <新>	
8	4 系統性と一貫性のある寄り添い方で実践する学習指導と生活指導の充実 <新>	
9	5 小学校区を基本単位とした「保幼小連携教育」の推進	
10	6 小規模校園の教育課題に対応するための「小小連携教育」の推進	
<b>施策⑨ 家庭での基本的な生活習慣と学習習慣の確立のための家庭との緊密な連携</b>		
11	1 家庭での基本的な生活習慣と学習習慣の確立	こども教育課
<b>基本的方向2 「こころの力」の育成</b> <span style="float: right;">… P. 23</span>		
<b>施策⑦ 発達段階に応じた「夢実現力を育む」キャリア教育</b>		
12	1 組織的・系統的なキャリア教育の推進	こども教育課
13	2 多様な体験活動の実施によるキャリア形成への支援	こども教育課
14	3 子どもの野生復帰大作戦の展開	生涯学習課
*「夢実現力を育む」文化・スポーツ振興事業		
15	4 美術展の開催	文化振興課
16	5 参加型演劇の開催	スポーツ振興課
17	6 スポーツ教室の開催	
<b>施策⑧ 子どもたちの発達段階に応じた体験を重視した活動</b>		
18	1 児童会・生徒会活動、リーダー研修会等の充実	こども教育課
19	2 福祉体験活動やボランティア活動など社会体験の機会の充実	
*「ふるさと教育につながる」文化振興事業		
20	3 出石永楽館狂言教室の開催	文化振興課
<b>施策⑨ 学校教育活動全体を通じた道徳教育</b>		
21	1 体験的・実践的な活動を通じた道徳性の育成	こども教育課
22	2 地域の教材や人材を活かした道徳教育の充実	こども教育課
<b>施策⑩ 生命の尊厳を基盤にした人権教育</b>		
23	1 いじめやインターネットによる人権侵害等、今日的な人権課題に対応した人権教育の充実	こども教育課
24	2 人権尊重を基盤とした社会をめざす教育の推進と家庭・地域・関係機関との連携の推進	こども教育課
<b>施策⑪ コウノトリを核にした環境教育</b>		
25	1 『いのち』について学ぶ「生きもの共生の日」(5月20日)の取組の充実	こども教育課
<b>施策⑫ グローバル化に対応した教育</b>		
26	1 諸外国との友好親善交流の実施	こども教育課/文化振興課
27	2 子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭の開催	生涯学習課
<b>施策⑬ 過去の災害の教訓を踏まえた防災教育</b>		
28	1 過去の災害等を踏まえた防災・減災授業の実施	こども教育課
<b>施策⑭ 豊かな人間関係の構築</b>		
29	1 子どもと心でつながる市民運動の推進 <関連>	生涯学習課
<b>基本的方向3 「からだの力」の育成</b> <span style="float: right;">… P. 28</span>		
<b>施策⑦ 全国体力・運動能力等調査の結果等を踏まえた体力・運動能力の向上</b>		
30	1 「豊岡版小学校体育準備運動」の共通実践と体育授業の充実	こども教育課
<b>施策⑧ 望ましい食習慣の形成を図る食育</b>		
31	1 食に関する指導の充実と「食育の日」(毎月19日)、「弁当の日」の推進	こども教育課
<b>施策⑨ 心身の健康課題に適切に対応する健康教育</b>		
32	1 規則正しい生活習慣の確立	こども教育課

施策⑦ 健康な体をつくる運動遊び		
33	1 幼児期における運動遊びの推進	こども育成課
施策⑧ 基本的な生活習慣の確立		
34	1 「生活リズム」及び「基本的な生活習慣」の定着とその推進	こども育成課
35	2 食育の推進	
施策⑨ 身近な環境への好奇心や探究心の育成		
36	1 自然・ふるさと体験の充実	こども育成課
37	2 動物の飼育や野菜などの栽培活動の推進	
施策⑩ 人の話を聞き、自分の思いを言葉で表現する力の育成		
38	1 絵本の読み聞かせの推進	こども育成課
39	2 感じたことや考えたことを表現する力の育成	
40	3 話す力・聞く力の定着	
施策⑪ 様々な体験活動		
41	1 様々な体験活動の積み重ねと社会的ルールの育成	こども育成課
42	2 人と関わる力の育成	
43	3 英語遊び保育の推進 <拡>	

施策⑫ 発達特性の理解と早期からの一貫した支援		
44	1 豊岡市こども支援センターの機能の充実 <関連>	こども教育課
45	2 スーパーバイザー支援事業	
46	3 教職員の専門性向上を目指した実践的研修の推進	
47	4 卒業後までを見通した教育的支援・指導の引継ぎの推進	
48	5 介助員並びにスクールアシスタントの効果的な活用	
49	6 保育園等巡回相談の実施	
施策⑬ 共に学ぶことで豊かな人間性を育む交流及び共同学習		
50	1 交流及び共同学習の推進	こども教育課
51	2 市内特別支援学級の交流の実施	
施策⑭ 保護者支援		
52	1 就学前からの就学に向けた相談支援の充実 <関連>	こども育成課

基本方針2 子どもたちの学びを支える仕組みの確立

基本的方向1 学校園の組織力及び教職員の資質能力の向上		… P. 37
<b>施策⑦ 校園長のリーダーシップのもと教職員一人一人の力を組織的かつ機動的にいかしていく協働体制の確立</b>		
53	1 管理職研修の充実	こども教育課
54	2 学校教育経営研修の充実	
55	3 「学校における働き方改革」の推進	
<b>施策⑧ いじめや暴力行為等の問題行動の未然防止、早期発見、早期対策</b>		
56	1 いじめの未然防止、早期発見・早期対応の充実	こども教育課
57	2 小・中学校と関係機関との生徒指導に係る情報交換の推進	
58	3 不登校対策の充実	
59	4 相談支援事業の実施	
60	5 「子どもの心を理解する強化月間」の充実	
61	6 心理検査を活用した生徒指導の充実	
<b>施策⑨ 授業力や多様な教育課題への対応力等教職員の資質と実践的指導力の向上</b>		
62	1 授業力づくりと学級づくりの一体化の質的向上	こども教育課
63	2 校内研修担当者研修の充実	
64	3 教職員の研修ニーズに対応する研修の充実	
65	4 初任者及び2年次・3年次研修の充実	
66	5 豊岡市中学校教育研究会・教科部会の充実	
67	6 児童生徒及び教職員のICT活用能力の向上	
68	7 民間企業等における社会体験を行う「先生のトライやる」の実施	
69	8 就学前の教育・保育計画「スタンダード・カリキュラム」や「すくすくプログラム-5つの育てたい力」を基本とした就学前教育の充実	こども育成課
基本的方向2 安全・安心な教育環境の整備		… P. 40
<b>施策⑦ 学校園及び給食センターの安全対策やICT環境等の教育環境の整備・充実</b>		
70	1 学校園施設等の定期的な安全点検及び整備	教育総務課/こども育成課
71	2 非構造部材等落下防止対策の推進	教育総務課
72	3 ICT環境の整備 <拡>	
73	4 地産地消の推進と安全・安心な学校給食の提供	
74	5 食物アレルギーへの取組の推進	こども教育課
75	6 通学(園)路の安全点検と安全教育の充実及び関係機関・保護者・地域との連携強化	
76	7 通学(園)手段の確保	
<b>施策⑧ 様々な困難や課題を抱える子どもたちに対する教育の機会を確保するための就学支援</b>		
77	1 要保護・準要保護児童生徒への就学援助費の支給	こども教育課
78	2 特別支援学級在籍児童生徒への就学奨励費の支給	こども育成課
79	3 実費徴収に係る補足給付事業の実施(保育所・認定こども園・幼稚園)	
基本的方向3 家庭の教育力の向上		… P. 42
<b>施策⑦ 親が親として成長するための学びの機会の提供</b>		
80	1 はばたきメッセージを活用した家庭教育のあり方の充実	こども教育課
81	2 PTA活動の充実	こども育成課
82	3 子育て家庭を対象とした子育て講座の実施	
83	4 親子が交流できる機会の充実	生涯学習課
84	5 「とよおか家族の日」の関連事業の充実	
<b>施策⑧ 関係機関の連携による家庭教育への支援</b>		
85	1 子育てに関する相談の充実	こども育成課
86	2 学校園と家庭児童相談室・こども家庭センターなどの関係機関との連携	
<b>施策⑨ 家庭における子どもが伸びる習慣づくりの実践</b>		
87	1 すくすくメッセージや紙芝居「めらとにんじやのしゅぎょう」を活用した乳幼児期の生活リズムの定着	こども育成課
88	2 「運動遊びパンフレット」「おでかけマップ」により、家庭や地域での運動遊び・外遊びの促進	生涯学習課
89	3 ブックスタートの推進 <新>	
基本的方向4 地域全体で子どもを育てる環境づくりの推進		… P. 45
<b>施策⑦ 地域が主体的に学校運営に参画し、効果的な学校園支援活動を行うこと等地域ぐるみで子どもを育成する体制づくり</b>		
90	1 安全ボランティアによる見守り活動の継続及び活動支援	こども教育課
91	2 学校支援地域本部事業の推進	
92	3 土曜チャレンジ学習事業の推進	
93	4 子どもと心でつながる市民運動の推進 <関連>	生涯学習課
94	5 仕事と子育ての両立支援	こども育成課
<b>施策⑧ 学校園からの積極的な情報発信を踏まえた地域と学校園の緊密な連携</b>		
95	1 学校・家庭・地域の連携強化	こども教育課



# 第3次とよおか教育プラン(豊岡市教育振興基本計画)

## 平成30年度実践計画検証総括シート

基本方針1	夢実現力を育む教育の推進
基本的方向1	「あたまの力」の育成
	子どもたちに、基礎的・基本的な知識・技能を習得、活用し、自らを高め学び続ける力を身に付けさせることが重要である。 このため、⑦全国学力・学習状況調査の結果等を踏まえた学力向上策、④小中一貫教育を核とした連携教育、②家庭での基本的な生活習慣と学習習慣の確立のための家庭との緊密な連携等に取り組む。

### 〔指標の検証〕

指標名	H29現状値(目標差)	H31目標値(H29差)	H31指標の実現状況
■「全国学力・学習状況調査」のA問題における正答率が40%以下の児童生徒の割合	小国A 8.0%(±0%)○ 小算A 8.3%(-5.3%) 中国A 2.6%(+0.4%)○ 中数A 13.4%(-4.4%)○	小国 } 小算 } 全国平均正答 中国 } 率における割 中数 } 合	小国A 11.2% 小算A 18.0% 中国A 3.3% 中数A 13.2%○
■国語、算数、数学の勉強が好きだと思っている児童生徒の割合	小国 62.4%(-0.6%)○ 小算 67.0%(-1.0%)○ 中国 49.9%(-4.1%)○ 中数 54.8%(-6.2%)○	小国 64%(+1%) 小算 69%(+1%) 中国 54% 中数 61%	小国 68.2% (+4.2%)○ 小算 65.7% (-3.3%) 中国 61.1% (+7.2%)○ 中数 49.4% (-11.6%)
■普通の授業で、はじめに授業の目標(めあて・ねらい)が示されていると思う児童生徒の割合	小 90.8%(-1.2%) 中 93.6%(+1.6%)○	小 93%(+1%) 中 95%(+3%)	小 91.4% (-1.6%)○ 中 94.0% (-1.0%)○
■普通の授業で、最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていると思う児童生徒の割合	小 82.9%(+0.9%)○ 中 61.4%(-4.6%)	小 85%(+3%) 中 66%	小 84.1% (-0.9%)○ 中 69.6% (+3.6%)○
■話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う児童生徒の割合	小 72.2%(+1.2%)○ 中 64.8%(+1.8%)○	小 74%(+3%) 中 66%(+3%)	小 80.3% (+6.3%)○ 中 79.5% (+13.5%)○
■学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たり全く読書をしない児童生徒の割合(教科書や参考書、漫画や雑誌除く)	小 19.1%(-4.1%) 中 33.5%(-7.5%)○	小 15% 中 26%	小 15.8% (-0.8%)○ 中 28.9% (-2.9%)○
■家庭など学校での授業以外で平日に学習時間が30分未満の児童生徒の割合(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)	小 7.0%(-2.0%) 中 8.1%(-3.1%)○	小 5% 中 5%	小 4.5% (+0.5%)○ 中 5.6% (-0.6%)○

■・・・全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙を用いて評価を行う指標。

□・・・各所管課の事業や独自調査などの結果により評価を行う指標。

※ 全国学力・学習状況調査【平成30年4月17日実施】

国・公・私立学校の小学6年生と中学3年生を対象に実施する、国語、算数・数学、理科の教科に関する調査及び生活習慣や学習環境等に関する調査。(4月実施、7月結果公表)

※ H29現状値のうち、( )内は対H29目標差を、○印はH28現状値よりも改善した指標を表す。

※ H31目標値のうち、( )内は対H29差を表す。

※ H31指標の実現状況のうち、( )内は対H31目標差を、○印はH29現状値よりも改善した指標を表す。

教育委員会 (担当課)検証 (取組の継続等)	S 目標達成・取組完了(目標達成、事業計画完了による取組終了)	検証委員検証 (担当課評価の妥当性)	○ 妥当
	A 継続実施(拡充・現行方法による継続実施)		△ 疑義あり
	B 改善実施(取組の改善・見直しによる継続実施)		— 評価不能
	C 抜本的見直し(取組を継続する場合は抜本的な見直しが必要)		
	D 取組廃止(効果・必要性等から取組を廃止)		

〔施策と取組の自己検証〕

施策 ㉗ 全国学力・学習状況調査の結果等を踏まえた学力向上策	中間外部検証		年度末検証	所管課
	担当課	検証委員会	教育委員会	
1 市及び各小・中学校の分析結果と対応策の作成及び「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進	A	〇〇〇	A	こども教育課
2 「授業を核にした小中一貫教育の充実に係る研究」の推進	A	〇〇〇	B	
3 読書活動の習慣化と読書の質の向上を目指した読書活動の推進	A	〇〇〇	A	
4 きめ細かな指導の充実を図るための指導補助教員の配置	A	〇〇〇	A	
(施策における取組の総括:担当課中間検証) 指標の【「全国学力・学習状況調査」のA問題における正答率が40%以下の児童生徒の割合】は、全ての教科、領域においてH29年度の数値と同程度、あるいは増加しているのが現状である。これは、全国も同様の傾向にあり、各校にはA問題40%以下の児童生徒の状況等について分析し、授業改善の方策を具体的に検討するとともに、知識、技能が定着、習熟するよう「がんばりタイム」の活用、家庭学習の充実を図る取組を進める。 また、A問題における正答率が80%以上の児童生徒の割合においては、小国語A、中国語A、中数学Aでは、全国平均と同程度であるが、小算数Aでは、5ポイント以上下回っている。そこで、豊岡市学力向上検討委員会では、比較したり、分類したり、関連付けたりして考える論理的な思考を用いる学習を重視した授業アイデアを提案し、授業力の向上を図っていく。 今後も「授業における5つの『徹底・継続』実践事項」の質の向上を図ることで、「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」に取り組み、子どもたちの資質・能力を高めていく。				

施策 ㉘ 小中一貫教育を核とした連携教育	中間外部検証		年度末検証	所管課
	担当課	検証委員会	教育委員会	
1 ふるさと教育の推進	A	〇〇〇	A	こども教育課
2 英語教育の推進	A	〇〇〇	A	
3 コミュニケーション教育の推進	A	〇〇〇	A	
4 系統性と一貫性のある寄り添い方で実践する学習指導と生活指導の充実	A	〇〇〇	A	
5 小学校区を基本単位とした「保幼小連携教育」の推進	A	〇〇〇	A	
6 小規模校園の教育課題に対応するための「小小連携教育」の推進	A	〇〇〇	A	
(施策における取組の総括:担当課中間検証) H29年度から全市で、小中一貫教育「豊岡こうのとりのプラン」に取り組んでいる。小中一貫教育に係る取組を確実に実践するとともに、実践を記録に残し、集積している。今年度は「小中一貫教育に係る確かな実践～周知から徹底へ～」を推進テーマに、H29年度の実践から見えてきたことに基づき、重点的に取り組むことを精査し実践の質の向上を図っている。				

施策 ㉙ 家庭での基本的な生活習慣と学習習慣の確立のための家庭との緊密な連携	中間外部検証		年度末検証	所管課
	担当課	検証委員会	教育委員会	
1 家庭での基本的な生活習慣と学習習慣の確立	A	〇〇〇	A	こども教育課
(施策における取組の総括:担当課中間検証) 入学説明会など保護者が集まる機会をとらえ、基本的な生活習慣の育成と家庭学習の習慣化を図るために、「はばたきメッセージ」を活用しながらその重要性を説明している。また、全国学力・学習状況調査結果を分析し、家庭で取り組む実践ポイントを周知するなど、家庭と連携しながら、習慣の確立に取り組む。				

施策⑦-3

読書活動における「チャレンジ!フィフティ」も長く続いている取組で定着してきている。読書をすることで漢字を覚えたり、言葉を知ったりと学習面にもつながると思うので、「豊岡市推薦図書一覧」を活用するなどして、読書の習慣化を目指してほしい。朝読書も小学校から行われており、中学校に入ってもスムーズにできているので継続して取り組んでいただきたい。

今後も読書活動の習慣化と読書の質の向上を目指し、取組を進めていきます。

施策⑦-4

各学校において、特別な支援を要する児童生徒の数は増加傾向にある。また、30日以上長期欠席者について、別室指導や保健室登校への対応も必要となっている。

特別な支援を必要とする児童生徒数の増加やニーズの多様化・複雑化について把握しており、今後も指導補助教員等の増員に努めていきます。

また、経済的にも教育環境的にも貧困家庭の状況に置かれている子どもたちを、学校でどう支援していくかを考えると、やはり人手が必要となってくる。人員・予算等の関係もあり、指導補助教員の配置を増やすことはなかなか難しい面もあると思われるが、可能な限りお願いしたい。

指導補助教員の増員に向けての一層の努力を希望する。

施策①-1、2、3、4

「豊岡こうのとりのプラン」の取組も2年目を迎え、各ワーキンググループでの検証(評価・改善)が進んでいるが、担当課の中間検証にあるように、重点的に取り組むことを精査していくことが大切であると思う。

各ワーキンググループでの検証(評価)を行いながら、取組を精査し改善していきます。

施策①

豊岡市教育の根幹をなすものであると思う。なお一層の協議、推進を期待する。

今後も引き続き、小中一貫教育推進協議会、検討会議(ワーキンググループ会議)等で協議、周知しながら推進します。

施策⑨

特にPTA等と連携し、具体的な施策を実施するために、アンケート回答を重視して検討することを希望する。

家庭での基本的な生活習慣と学習習慣の確立のため、関係機関やPTA等と連携し、継続して取り組んでいきます。

〔基本的方向における総括:教育委員会年度末検証〕

子どもたちが基礎的・基本的な知識・技能を習得し、活用するため、比較したり、分類したり、関連付けたりして話し合う場を設けたり、適用題や学習内容を活用して解決を図る時間を確保(後半重視型の授業)したりするなど、授業改善に取り組んできた。

小中一貫教育に係る取組では、1年目の実践から見えてきたことを基に、取組の重点化を図り推進してきた。子どもたちに、自らを高め学び続ける力を身に付けさせるため、取組を継続していく。



# 第3次とよおか教育プラン(豊岡市教育振興基本計画)

## 平成30年度実践計画検証総括シート

基本方針 1	夢実現力を育む教育の推進
基本的方向 2	「こころの力」の育成
	<p>子どもたちに、ふるさとの「ひと・もの・こと」に学びねばり強く挑戦する力、また、全ての命に共感する力及び人と肯定的に関わる基本的態度を身に付けさせることが重要である。</p> <p>このため、⑦発達段階に応じた「夢実現力を育む」キャリア教育、①子どもたちの発達段階に応じた体験を重視した活動、⑩学校教育活動全体を通じた道徳教育、⑨生命の尊厳を基盤にした人権教育、④コウノトリを核にした環境教育、⑤グローバル化に対応した教育、⑥過去の災害の教訓を踏まえた防災教育、②豊かな人間関係の構築等に取り組む。</p>

### 〔指標の検証〕

指標名	H29現状値(目標差)	H31目標値(H29差)	H31指標の実現状況
■ 自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合	小 81.0%(-2.0%)○ 中 72.9%(+3.9%)○	小 83% 中 74%(+5%)	小 87.4% (+4.4%) ○ 中 81.8% (+7.8%) ○
■ 将来の夢や目標を持っていない児童生徒の割合	小 15.4%(-4.4%)○ 中 29.3%(-0.3%)○	小 11%以下 中 28%以下(+1%)	小 12.3% (-1.3%) ○ 中 31.1% (-3.1%)
■ 人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合	小 94.5%(-0.5%) 中 92.1%(-2.9%)	小 96%(+1%) 中 95%	小 96.4% (+0.4%) ○ 中 97.7% (+2.7%) ○
■ 地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある児童生徒の割合	小 38.2%(-36.8%) 中 27.9%(-37.1%)	小 40%(-35%) 中 29%(-36%)	小 52.1% (+12.1%) ○ 中 37.6% (+8.6%) ○
■ いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う児童生徒の割合	小 98.0%(-2.0%)○ 中 94.5%(-5.5%)	小・中 100%	小 97.5% (-2.5%) 中 97.3% (-2.7%) ○
□ 子どもの野生復帰大作戦子ども向けコース定員に対する参加者率	78.6%(-21.4%)	100%	80.0% (-20.0%) ○

■・・・全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙を用いて評価を行う指標。

□・・・各所管課の事業や独自調査などの結果により評価を行う指標。

※ 全国学力・学習状況調査【平成30年4月17日実施】

国・公・私立学校の小学6年生と中学3年生を対象に実施する、国語、算数・数学、理科の教科に関する調査及び生活習慣や学習環境等に関する調査。(4月実施、7月結果公表)

※ H29現状値のうち、( )内は対H29目標差を、○印はH28現状値よりも改善した指標を表す。

※ H31目標値のうち、( )内は対H29差を表す。

※ H31指標の実現状況のうち、( )内は対H31目標差を、○印はH29現状値よりも改善した指標を表す。

教育委員会 (担当課)検証 (取組の継続等)	S 目標達成・取組完了 (目標達成、事業計画完了による取組終了)	検証委員検証 (担当課評価の妥当性)	○ 妥当
	A 継続実施 (拡充・現行方法による継続実施)		△ 疑義あり
	B 改善実施 (取組の改善・見直しによる継続実施)		— 評価不能
	C 抜本的見直し (取組を継続する場合は抜本的な見直しが必要)		
	D 取組廃止 (効果・必要性等から取組を廃止)		

【施策と取組の自己検証】

施策 ㉗ 発達段階に応じた「夢実現力を育む」キャリア教育	中間外部検証		年度末検証	所管課
	担当課	検証委員会	教育委員会	
1 組織的・系統的なキャリア教育の推進	A	○○○	A	こども教育課
2 多様な体験活動の実施によるキャリア形成への支援	A	○○○	A	
3 子どもの野生復帰大作戦の展開	A	-○○	A	
*「夢実現力を育む」文化・スポーツ振興事業				
4 美術展の開催	B	○○○	B	文化振興課
5 参加型演劇の開催	B	△○○	B	
6 スポーツ教室の開催	A	○○○	A	スポーツ振興課

(施策における取組の総括:担当課中間検証)

小・中学校ともに、「自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合」、「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある児童生徒の割合」が改善している。体験活動等をはじめとする日々の教育活動の中で、キャリア教育の視点が浸透してきている一つの成果と考えられる。成果と課題の分析、計画の検証・見直しを進め、取組の質の向上を各校に求めていく。

施策 ㉘ 子どもたちの発達段階に応じた体験を重視した活動	中間外部検証		年度末検証	所管課
	担当課	検証委員会	教育委員会	
1 児童会・生徒会活動、リーダー研修会等の充実	A	○○○	A	こども教育課
2 福祉体験活動やボランティア活動など社会体験の機会の充実	A	○○○	A	
*「ふるさと教育につながる」文化振興事業				
3 出石永楽館狂言教室の開催	A	○○○	A	文化振興課

(施策における取組の総括:担当課中間検証)

より良い学校生活を主体的に創造する活動や福祉体験活動、ふるさとの伝統文化に触れる活動等を通して、「共に生きる心」や「思いやりの心」、「ふるさとを誇りに思う心」を育てている。これからも、さらに体験活動の工夫と事前・事後指導を充実させ、自分の生き方や考え方を見つめ直したり、ふるさとへの愛着や誇りを醸成したりすることができる取組を継続していく。

施策 ㉙ 学校教育活動全体を通じた道徳教育	中間外部検証		年度末検証	所管課
	担当課	検証委員会	教育委員会	
1 体験的・実践的な活動を通じた道徳性の育成	A	○○△	A	こども教育課
2 地域の教材や人材を活かした道徳教育の充実	A	○○△	A	

(施策における取組の総括:担当課中間検証)

教育活動全体と道徳教育の関連を図りながら、体験的、実践的な活動を計画的に実践し、道徳性の育成に取り組んでいる。教科化に伴い、研修等により教師の授業力向上を図るとともに、家庭や地域との連携をさらに強化し、体験活動や地域人材活用機会を増やし、学校教育全体はもとより家庭や地域と一体となった取組を計画・推進するよう引き続き求めていく。

施策 ㉚ 生命の尊厳を基盤にした人権教育	中間外部検証		年度末検証	所管課
	担当課	検証委員会	教育委員会	
1 いじめやインターネットによる人権侵害等、今日的な人権課題に対応した人権教育の充実	A	○○○	A	こども教育課
2 人権尊重を基盤とした社会をめざす教育の推進と家庭・地域・関係機関との連携の推進	A	○○○	A	

(施策における取組の総括:担当課中間検証)

「ほほえみ」「きらめき」等を年間指導計画に位置付け、同和問題を柱としながら、いじめ、インターネットによる人権侵害、障がいのある人の人権課題等について計画的に指導している。  
また、校内研修を実施し、共生社会の実現に向けて、人権教育資料等を活用し、男女の平等や相互理解、協力を基盤に児童生徒一人一人の個性や能力を生かす教育を推進している。今後も、さらに家庭・地域・関係機関と連携し、人権教育の充実・深化を図れるよう指導の改善を行いながら取組を進めていく必要がある。

施策④ コウノトリを核とした環境教育	中間外部検証		年度末検証	所管課
	担当課	検証委員会	教育委員会	
1 『いのち』について学ぶ「生きもの共生の日」(5月20日)の取組の充実	A	△〇△	A	こども教育課
(施策における取組の総括:担当課中間検証) 昨年度から本格的に実施しているふるさと教育との関連を図りながら、総合的な学習の時間等に環境教育を位置付け、子どもたちが、ふるさとの環境の素晴らしさや課題について学ぶ学習を進めている。また、「生きもの共生の日」をきっかけにし、『いのち』の大切さや、『いのち』のつながりについて考える学習を行い、全ての命に共感する力を育てている。座学だけでなく、体験を通じた実感の伴う学習となるよう工夫していくことが大切である。				

施策⑤ グローバル化に対応した教育	中間外部検証		年度末検証	所管課
	担当課	検証委員会	教育委員会	
1 諸外国との友好親善交流の実施	A	〇〇△	B	こども教育課/文化振興課
2 子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭の開催	A	〇〇△	A	生涯学習課
(施策における取組の総括:担当課中間検証) 他国の歴史や暮らし、文化を学ぶ機会を通して豊岡の魅力だけでなく、異文化について理解を深めるようにしている。今後も他国の優れた芸術等、本物に触れる体験を大切にし、広い視野で物事を考えられる子どもの育成に努める。				

施策⑥ 過去の災害の教訓を踏まえた防災教育	中間外部検証		年度末検証	所管課
	担当課	検証委員会	教育委員会	
1 過去の災害を踏まえた防災・減災授業の実施	A	〇〇〇	A	こども教育課
(施策における取組の総括:担当課中間検証) メモリアルデーの取組を中心に、全ての学校園で計画的な取組ができています。消防署等との連携や参観日での授業も実施されています。今後も、さらに地域や関係機関等との連携を図ること、課題意識を持って取組を継続することにより、防災教育・防災体制の一層の充実を図る。				

施策⑦ 豊かな人間関係の構築	中間外部検証		年度末検証	所管課
	担当課	検証委員会	教育委員会	
1 子どもと心でつながる市民運動の推進	A	〇〇△	A	生涯学習課
(施策における取組の総括:担当課中間検証) 日本の若者(20代)は世界一チャレンジしないという結果があり、なお人との関わりが苦手な子どもたちが増えている状況がみられる。あえていろいろなタイプの大人たちと関係性を持つ体験など、将来豊かな人間関係の構築に寄与する取組を行う必要がある。 子どもと心でつながる市民運動推進協議会を主体とした全市的な取組として、地域ぐるみで青少年を非行から守り、健全な育成を図るため、家庭、地域、学校、行政が連携して子どもたちをサポートする体制を継続していく。一斉ラジオ体操、お祭りをはじめとする地区行事への中学生の参加を促進するなど、子どもたちが地域の中で役割を持って活動し、大人たちとのコミュニケーションを図るきっかけづくりを進めていく。				

指標

「自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合」は高い数字ではあるが良いところがあまりないと思っている児童生徒も当然ながらいる。また、「将来の夢や目標がまだ見つかっていない」子もいるが、その多くは「人の役に立つ人間になりたい」と思っている。「人の役に立ちたい」という思いが持っていることが、基本的方向の「こころの力」が、しっかりと育っていると思える。今後は、目標値に近い数字になることを期待する。

施策⑦-3

改善の方向性には賛同する。担当課の検証ができていない状態でこの事業について評価することは難しい。見直しを図りながら実施していただきたい。

施策⑦-4

児童生徒の図画・書写の作品を外部的に評価していただける機会（豊岡市美術展・伊藤清永賞子ども絵画展、かな書展等）を数多く設けていただいていることに感謝の念でいっぱいである。運営面で大変な労力が必要であることは十分理解しているが、是非とも継続実施を希望する。

施策⑦-5

昨年度の事業を見学したが、参加型という言葉のイメージからすると、少し残念な印象であった。もっと子どもたちが考え、発言しながら一緒に創っていくようなものなら理解できる。

施策⑦-4、5

担当課「B」の部分を具体的に検証し、アンケートの実施等、評価の検討を希望する。

施策①-3

出石永楽館狂言教室は素晴らしい事業で、保護者からも評価が高い。豊岡市の財産である永楽館という場所で日本の伝統芸能に触れる機会は、子どもたちの心にずっと残るものと考えられる。ふるさと教育の観点からも今後もぜひ継続実施していただきたい。

施策①

児童・生徒の力を付ける効果が確実に上がっている。益々の努力を期待する。

施策②

道徳、人権教育は、命にかかわるとても大切な教育である。道徳心、規範意識の習得には、家庭のしつけはもちろん、周囲の大人の正しい関わりが大切である。道徳の教科化は望ましいことだと思うが、評価の仕方に道徳教育の難しさを感じる。

道徳教育に関しては、現場からの声が聞こえてこないため、あえて「△疑義あり」の評価とした。

今後もキャリア教育や道徳教育、人権教育等のより一層の充実を図り、ねばり強く挑戦する力や人と肯定的に関わる態度を身に付けさせることで、「こころの力」を育成し、目標値に近づけていきます。

自らの可能性を信じることのできる子どもの育成という面では、挑戦することにより、依存しがちな子どもたちに自ら考え判断する姿が見られました。十分な成果が得られたと考えており継続して実施していきます。

今後も継続していけるよう、時代に沿って見直し運営していきます。

本年度から定員を100名から80名に絞り、子どもたちの発言の機会を増やしています。アンケートでも、公演終了後に子どもたちが内容について意見を交わす様子が見られるとあり、受動的な鑑賞にとどまらない効果があったと考えています。

アンケートを含めた事業評価を基に、運営方法（市展）や実施時期（参加型演劇）の改善を行い、事業の充実を図っていきます。

体験の要素（狂言の所作・セリフ）や永楽館の解説を充実するなど、事業効果のさらなる向上を図り、事業継続に努めていきます。

リーダー研修会やふれあい育児体験等を通して、自分たちの生活について主体的に考えたり、「思いやりの心」や「共に生きる心」を実感したりできるよう、取組の充実を図っていきます。

授業の時間を要に、学校の教育活動全体を通して学べるよう、道徳教育、人権教育の充実を図っていきます。評価については、国が示している評価の見解に即して行い、子どもたちの学習状況や成長の様子を適切に把握し評価します。

学校訪問等を通じて、現場の状況や実態把握に努めていきます。

施策①-1

インターネットは多くの小中学生が利用しており、今や「使わせない」ことより、いかに「正しく使用させるか」が大切であろう。大人よりも子どもたちのほうが、機器にははるかに詳しい。「人の心も自分の心も傷つけてはならない」「安易な気持ちで使用してはならない」など、人権教育の充実をお願いしたい。

関係機関と連携した情報モラル教育や研修を行い、今後もインターネットによる人権侵害等に対応した人権教育の充実を図っていきます。

施策②

毎年の児童・生徒の動向を把握しながら、学校と連携し、家庭教育を実施する必要があると思う。

オープンスクールや参観日等の場を活用し、学校と家庭や地域が一体となった人権教育を図れるよう取組を進めます。

施策③-1

「生きもの共生の日」(5月20日)を意識した取組がどれだけ行われているか疑問である。

「生きもの共生の日」の定着について、各校の取組状況を把握するよう努めます。

コウノトリも住める素晴らしい環境が、私たちには当たり前になっている。その当たり前が素晴らしいことと気付く、再認識することのできる環境教育をお願いしたい。

豊岡の素晴らしさを再認識できるよう、ふるさと教育とも関連させながら、地域の「ひと・もの・こと」から学ぶ環境教育の充実を図っていきます。

「生きもの共生の日」(5月20日)の取組についての具体内容が不明なため、「△疑義あり」の評価とした。

「生きもの共生の日」の意義やその取組内容について、周知を図っていきます。

施策④-1

「諸外国との友好親善交流の実施」効果が上がっていないと思う。再検討を望む。

モンゴル国との交流では、隔年で受入れと派遣を実施してきましたが、生徒派遣については参加者が限られていること、成果が見えにくいなどの課題があり、派遣の目的、また目的を実現するための前後の対策、交流の在り方の見直しを図っていきます。

施策⑤

グローバル化に向けて、語学力、コミュニケーション能力を向上させることは不可欠であり、英語教育については学びの場の充実を期待する。

授業実践を重視し、子どもたちがさまざまな生活場面の中で、英語を使い活用できるよう取組を進めていきます。

施策⑥

豊岡市での大きな水害のこと、日本の災害などを伝えていかないと途切れてしまうという思いがある。折に触れ、伝えていく取組をお願いしたい。

今後も全学校園で、メモリアルデー防災・減災授業を実施し、過去の教訓を継承し、防災教育の充実を図っていきます。

自分の命を守る取組は重要だが、日々生活しているとおろそかにしてしまう部分があり、何かきっかけがないといけないと思う。学期ごとに1回ずつメモリアルデーを設定されているのは自分の命を守ることを考える良い機会だと思っている。

なお一層の充実を期待する。

施策⑦-1

中学生の地域参画は年齢的にも難しい。しかし、豊岡市では「子どもと心でつながる市民運動」が展開されているからこそ、全国から比較しても大変高い参加率となっていると考える。難しい面も多々あろうが、継続していきたい事業であると考えている。

中学生の夏休みラジオ体操をきっかけにした地域との絆づくりを引き続き推進します。

この施策は現実的でなく、継続は不可能と考える。根本的な再考をお願いする。

〔基本的方向における総括:教育委員会年度末検証〕

指標の多くで、H29現状値を上回ることができた。今後も子どもたちに、ねばり強く挑戦する力、また、全ての命に共感する力及び人と肯定的に関わる基本的な態度を身に付けさせるため、引き続き、本物に触れたり、実際に自分で考えて行動したりする体験的な学びを重視した取組を進めていく。そのため、ふるさと学習や環境教育、人権教育、防災教育等で地域や関係機関等と連携し、ふるさとの「ひと・もの・こと」に学ぶ機会の充実を図っていく。

## 第3次とよおか教育プラン(豊岡市教育振興基本計画) 平成30年度実践計画検証総括シート

基本方針 1	夢実現力を育む教育の推進
基本的方向 3	「からだの力」の育成
	子どもたちに、心と身体の健康と安全を主体的につくり出し、維持する力を身に付けさせることが重要である。 このため、㊲全国体力・運動能力等調査の結果等を踏まえた体力・運動能力の向上、 ㊱望ましい食習慣の形成を図る食育、㊳心身の健康課題に適切に対応する健康教育等に取り組む。

### 〔指標の検証〕

指標名	H29現状値(目標差)	H31目標値(H29差)	H31指標の実現状況
<input type="checkbox"/> 新体力テストにおける小学校5年生と中学校2年生の体力合計点のT得点	小5男 52.3(+2.3)○ 小5女 52.2(+2.2)○ 中2男 50.9(+0.9)○ 中2女 50.0(±0) 【全国平均値 50】	全国平均以上 (T得点50以上)	小5男 51.4 (+1.4) 小5女 51.0 (+1.0) 中2男 50.6 (+0.6) 中2女 49.7 (-0.3)
<input type="checkbox"/> 体育の授業は楽しいと思う児童生徒の割合	小 93.5%(-1.5%) 中 90.0%(-3.0%)○	小 95%以上 中 93%	小 91.6% (-3.4%) 中 93.9% (+0.9%)○
<input checked="" type="checkbox"/> 朝食を毎日食べる児童生徒の割合	小 89.4%(-3.6%) 中 85.4%(-3.6%)○	小 95% 中 91%	小 86.1% (-8.9%) 中 85.4% (-5.6%)○

■・・・全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙を用いて評価を行う指標。

□・・・各所管課の事業や独自調査などの結果により評価を行う指標。

※ 全国学力・学習状況調査【平成30年4月17日実施】

国・公・私立学校の小学6年生と中学3年生を対象に実施する、国語・算数・数学、理科の教科に関する調査及び生活習慣や学習環境等に関する調査。(4月実施、7月結果公表)

※ H29現状値のうち、( )内は対H29目標差を、○印はH28現状値よりも改善した指標を表す。

※ H31目標値のうち、( )内は対H29差を表す。

※ H31指標の実現状況のうち、( )内は対H31目標差を、○印はH29現状値よりも改善した指標を表す。

教育委員会 (担当課)検証 (取組の継続等)	S・目標達成・取組完了(目標達成、事業計画完了による取組終了)	検証委員検証 (担当課評価の妥当性)	○ 妥当
	A 継続実施(拡充・現行方法による継続実施)		△ 疑義あり
	B 改善実施(取組の改善・見直しによる継続実施)		— 評価不能
	C 抜本的見直し(取組を継続する場合は抜本的な見直しが必要)		
	D 取組廃止(効果・必要性等から取組を廃止)		

〔施策と取組の自己検証〕

施策⑦ 全国体力・運動能力等調査の結果等を踏まえた体力・運動能力の向上	中間外部検証		年度末検証	所管課
	担当課	検証委員会	教育委員会	
1 「豊岡市版小学校体育準備運動」の共通実践と体育授業の充実	A	〇〇〇	A	こども教育課
(施策における取組の総括:担当課中間検証) 幼児期から系統的な指導を継続することは、子どもたちの体力や基礎的な運動能力の向上につながる。各小学校において、「豊岡市小学校体育準備運動」や「運動と学習をセットにした豊岡モデル」を継続実施している。「からだの力」の育成の柱として定着と充実に図るため、成果と課題を整理しながら確実に実践を積み重ねていくことが重要である。				

施策⑧ 望ましい食習慣の形成を図る食育	中間外部検証		年度末検証	所管課
	担当課	検証委員会	教育委員会	
1 食に関する指導の充実と「食育の日」(毎月19日)、「弁当の日」の推進	A	〇〇〇	A	こども教育課
(施策における取組の総括:担当課中間検証) 栄養教諭や給食センターの協力のもと、望ましい食習慣・栄養バランス等についての指導や地域の食材を扱った体験的な活動を行っている。 また、「食育の日」や「弁当の日」、食育だよりの発行等を通して、家庭と連携した食に関する指導を行っている。引き続き、学校や園の教育活動全体を通して、取組を推進し、食に関する教育の充実を図りたい。				

施策⑨ 心身の健康課題に適切に対応する健康教育	中間外部検証		年度末検証	所管課
	担当課	検証委員会	教育委員会	
1 規則正しい生活習慣の確立	A	〇〇〇	A	こども教育課
(施策における取組の総括:担当課中間検証) 学校園だよりの発行やPTAや専門機関と連携した研修会等を通して、規則正しい生活の大切さを呼び掛けている。そして、児童生徒、保護者が心身の健康問題の解決に向けて正しい知識を身に付け、適切な対処の仕方考えられるよう努めている。引き続き、専門機関等と連携した研修や指導を行うとともに、家庭やPTAとも協力して、健康教育の充実を図っていくことが求められる。				

〔中間外部検証意見〕

〔年度末教育委員会検証〕

<p>基本的方向全般 園だよりやPTAの研修の機会に、子どもの成長にとって大切な「食」「睡眠」について気付けるよう働き掛けているが、全体に浸透していきにくく、継続した働き掛けの必要性を実感している。</p> <p>指標を見ると、H29は体力的には全国平均以上にはなっているが、H30「朝食を毎日食べる児童生徒の割合」はH31目標値を下回っていることが少し気になる。朝食は非常に大事で、特に成長期にある子どもたちにはしっかりと食べることを指導してほしい。</p> <p>施策⑦-1 実績もあり、益々の推進を期待する。</p> <p>施策⑧-1 「食育の日」や「弁当の日」についても高評価を得ている。益々の推進を期待する。</p> <p>施策⑨-1 食育と共に眠育への取組に対して期待する。</p>	<p>「望ましい食習慣」や「規則正しい生活習慣の確立」について、引き続き、学校での指導はもちろん、家庭への啓発も行き、その取組の充実を図ります。</p> <p>取組の更なる定着と充実を図っていきます。</p> <p>取組の更なる定着と充実を図っていきます。</p> <p>今後も睡眠の大切さについての意識を高めるため、取組を推進していきます。</p>
---	---

〔基本的方向における総括:教育委員会年度末検証〕

幼児期からの系統的な取組や関係機関との連携した取組ができている。今後も、更に子どもたちに心と身体の健康と安全を主体的につくり出し、維持する力を身につけさせるために、関係機関や家庭と緊密に連携し、取組の充実を図っていく。
---

# 第3次とよおか教育プラン(豊岡市教育振興基本計画)

## 平成30年度実践計画検証総括シート

基本方針 1	夢実現力を育む教育の推進
基本的方向 4	「あたま・こころ・からだの3つの力を支える基礎力」の育成
	子どもたちに、夢実現力の基礎力の育成期にあたる乳幼児期において、肯定的な言葉と行動を基盤とした関わり方により、人や物事へ自分から関わる意欲、健全な生活を営むために必要な態度、基本的な生活習慣等を育成することが重要である。 このため、⑦健康な体をつくる運動遊び、⑧基本的な生活習慣の確立、⑨身近な環境への好奇心や探究心の育成、⑩人の話を聞き、自分の思いを言葉で表現する力の育成、⑪様々な体験活動等に取り組む。

### 〔指標の検証〕

指標名	H29現状値(目標差)	H31目標値(H29差)	H31指標の実現状況
<input type="checkbox"/> 体を動かして遊ぶことが好きな園児の割合	98.9% (+0.1%) ○	H26現状値(98.8%) を下回らない	98.9% (+0.1%) ○
<input type="checkbox"/> 友だちと遊ぶことが好きな園児の割合	99.4% (-0.5%) ○	H26現状値(99.9%) を下回らない	99.7% (-0.2%) ○
<input type="checkbox"/> 午後9時までに就寝する園児の割合	37.4% (-29.6%) 《参考》 午後9時30分まで 78.3% 午後10時まで96.9%	67%	37.6% (-29.4%) ○ 《参考》 午後9時30分まで81.7%
<input type="checkbox"/> 毎日朝食を食べている園児の割合	94.2% (-0.8%) 《参考》 ほぼ毎日98.8%	95%	94.6% (-0.4%) ○
<input type="checkbox"/> 毎週1回以上、家庭で絵本の読み聞かせをしている家庭の割合	67.9% (-8.1%) 《参考》 3回以上38.8%	76%	67.9% (-8.1%) ○
<input type="checkbox"/> 幼稚園・保育園・認定こども園に行くことが楽しいと思っている園児の割合	98.3% (-0.5%)	H26現状値(98.8%) を下回らない	98.9% (+0.1%) ○
<input type="checkbox"/> 「おはよう」などのあいさつや「ありがとう」のお礼が言える園児の割合	92.7% (+0.2%) ○	H27現状値(92.5%) を下回らない	92.6% (+0.1%)
<input type="checkbox"/> 家で遊んだ後に、おもちゃなどの片付けができる園児の割合	66.0% (-0.6%) ○	H27現状値(66.6%) を下回らない	66.1% (-0.5%) ○

■・・・全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙を用いて評価を行う指標。

□・・・各所管課の事業や独自調査などの結果により評価を行う指標。

※ 全国学力・学習状況調査【平成30年4月17日実施】

国・公・私立学校の小学6年生と中学3年生を対象に実施する、国語、算数・数学、理科の教科に関する調査及び生活習慣や学習環境等に関する調査。(4月実施、7月結果公表)

※ H29現状値のうち、( )内は対H29目標差を、○印はH28現状値よりも改善した指標を表す。

※ H31目標値のうち、( )内は対H29差を表す。

※ H31指標の実現状況のうち、( )内は対H31目標差を、○印はH29現状値よりも改善した指標を表す。



教育委員会 (担当課) 検証 (取組の継続等)	S	目標達成・取組完了 (目標達成、事業計画完了による取組終了)	検証委員検証 (担当課評価の妥当性)	○	妥当
	A	継続実施 (拡充・現行方法による継続実施)		△	疑義あり
	B	改善実施 (取組の改善・見直しによる継続実施)		—	評価不能
	C	抜本的見直し (取組を継続する場合は抜本的な見直しが必要)			
	D	取組廃止 (効果・必要性等から取組を廃止)			

〔施策と取組の自己検証〕

施策 ㉗ 健康な体をつくる運動遊び	中間外部検証		年度末検証	所管課
	担当課	検証委員会	教育委員会	
1 幼児期における運動遊びの推進	A	〇〇〇	A	こども育成課
(施策における取組の総括: 担当課中間検証) 各園の日常保育において、積極的に体を動かして遊ぶ時間が取り入れられている。このことにより、子どもや職員同士、また職員が全園児に関わる機会を得ることができ、コミュニケーションが増える機会にもなっている。子どもの育ちの礎となっており、重要な施策として、今後も引き続き、取り組んでいきたい。				

施策 ㉘ 基本的な生活習慣の確立	中間外部検証		年度末検証	所管課
	担当課	検証委員会	教育委員会	
1 「生活リズム」及び「基本的な生活習慣」の定着とその推進	A	〇〇〇	A	こども育成課
2 食育の推進	A	〇〇〇	A	
(施策における取組の総括: 担当課中間検証) 生活リズムや基本的な生活習慣の定着、食育について、園だよりでの情報提供や講演会等への参加により、保護者への啓発活動に取り組んでいる。必要に応じて、家庭への個別の配慮をしながら定着につなげている。				

施策 ㉙ 身近な環境への好奇心や探究心の育成	中間外部検証		年度末検証	所管課
	担当課	検証委員会	教育委員会	
1 自然・ふるさと体験の充実	A	〇〇〇	A	こども育成課
2 動物の飼育や野菜などの栽培活動の推進	A	〇〇〇	A	
(施策における取組の総括: 担当課中間検証) 自然体験や飼育栽培活動を通して、各園は子どもたちの育ちを実感し、積極的に取り組んでいる。 今後、そこで生じる負の体験(栽培物が動物に食べられる、毒虫との遭遇等)を通して、自然との共生や自分の身を守ることを気づかせたり、遊びの中での発見や疑問を学びへつなげたりしていくことも必要である。				

施策 ㉚ 人の話を聞き、自分の思いを言葉で表現する力の育成	中間外部検証		年度末検証	担当課
	担当課	検証委員会	教育委員会	
1 絵本の読み聞かせの推進	A	〇〇〇	A	こども育成課
2 感じたことや考えたことを表現する力の育成	A	〇〇〇	A	
3 話す力・聞く力の定着	A	〇〇〇	A	
(施策における取組の総括: 担当課中間検証) 日々の生活の中で、幼児なりの表現や表現しようとする意欲を受け止めること、また保育者や友達、クラス、小学生や地域の人との交流の場等、様々な場で話しを聞いたり、話したりする機会を設け、表現する力を付けることに取り組んでいる。絵本の読み聞かせは、園だけでなく、家庭へ啓発し定着を促している。				

施策 ㉛ 様々な体験活動	中間外部検証		年度末検証	所管課
	担当課	検証委員会	教育委員会	
1 様々な体験活動の積み重ねと社会的ルールの育成	A	〇〇〇	A	こども育成課
2 人と関わる力の育成	A	〇〇〇	A	
3 英語遊び保育の推進	A	〇〇〇	A	
(施策における取組の総括: 担当課中間検証) 生活や遊び、地域交流等で、園の特色を生かした体験活動に取り組んでいる。今後も体験の質を吟味し、幼児の学びにつなげることが大切である。 英語遊びは、H29年度から、ほぼ全園で展開が始まり、今年で2年目となった。年間15回の巡回訪問を実施しており、子どもたちは英語に楽しく慣れ親しんでいる。引き続き、全園で安定的かつ継続的に推進・展開していきたい。				

基本的方向全般

この施策(取組)については大いに期待する。益々の推進を希望する。

施策⑦-1

運動遊びについては、子育てセンターでの親子運動遊びの取組により、園児と未就園児とで運動遊びの経験の差が少ない。入園後も、子どもたちは抵抗なく運動遊びを楽しむことができるので、今後もさらに充実させていただきたい。

指導員が子育てセンターに来て、直接子どもや保護者に丁寧な指導していただいているのでとてもありがたい。私たち保育者には「市ではこんな良い取組を実施している」ことを保護者へ伝える役割もあると思っている。

「豊岡の保育スタイル」は高い評価を得ている。継続推進を希望する。

施策⑧

生活習慣を付けるのは家庭なので、家庭でしっかり守ってもらわないと園ではどうしようもないことだと思う。その辺の情報発信をいかにスムーズにできるかが一番大事だと思う。

幼児期における「基本的な生活習慣の確立」は成長期の大切な要素であり、益々の推進を期待する。

施策⑨

豊かな自然が身近にある地域が多いが、害虫・害獣・危険箇所等リスクを考え消極的になりがちである。保育者はリスクを把握したうえで、子どもたちが安心・安全で遊び・学べる環境を整備するために努力していきたいと考えている。

幼児期のあらゆる体験は貴重な資質となる。益々の推進を期待する。

施策⑩-1

子どもが通っていた幼稚園で、帰る準備をしたあとで絵本を読んでもらった。そのことがその後もずっと続いていくので良い取組だと思う。

施策⑩

幼児期のあらゆる体験は貴重な資質となる。益々の推進を期待する。

人格形成を図る上で、重要な乳幼児期の取組を、なお一層充実させるとともに、引き続き、質の向上にも努めていきます。

6つの子育てセンターで、親子運動遊びを実施しています。

引き続き、市民全体に「幼児期に体を動かして遊ぶ」ことの重要性や事業の普及啓発に丁寧に取り組んでいきます。

「体を動かして遊ぶ」ことが生涯の健康の礎となる運動習慣の定着の始まり、だと考えています。引き続き、当該スタイルの定着及び普及啓発に努めていきます。

生活チェックを実施したり、睡眠の大切さを情報提供したりしています。各園で工夫しながら、生活リズムや基本的な生活習慣の定着に向けた取組を実施することにより、徐々に保護者や園児の意識が高まり、成果が出てきています。

引き続き、家庭と連携を取りながら、一人一人に生活習慣の定着を図っていきます。

幼児の安心・安全を前提とし、自然との関わりを積極的に進めていくため、保育者自身の知識や技能を高めていくことが重要だと考えています。

そして、豊かな自然体験を通して感性を育むとともに、自然の驚異や危険も知らせ、自然と関わる力を身に付けることも大切にし、取組を推進していきます。

園での読み聞かせだけでなく、園から絵本を貸し出すことにより、家庭での親子の触れ合いのきっかけにも寄与しています。

また、日々の読み聞かせや保育者や友達との言葉のやりとりの積み重ねが、聞く力、話す力、表現力を育てるため、今後も引き続き、取組を推進していきます。

施策④-3

保護者間でよく英語教育が話題になる。ほとんどの保護者がこれからの時代、英語教育の重要性を認識しており、早いうちから英語に慣れ親しんでほしいと思っておられる。子どもたちが抵抗なく勉強できるよう、さらなる拡充を望む。

施策⑤

幼児期のあらゆる体験は貴重な資質となる。益々の推進を期待する。

「英語嫌い」にはしない、「英語大好き、もっとしたい」という気持ちを育むことを最も大切にしています。引き続き、遊びを通して英語に慣れ親しむことができるよう、指導員や園保育者らと協議しながら、事業の充実を図るとともに、保護者への事業の普及啓発にも努めていきます。

〔基本的方向における総括:教育委員会年度末検証〕

人格形成を図る上で、乳幼児期の取組は大変重要である。引き続き、肯定的な言葉と行動を基盤にしながら、スタンダード・カリキュラムの更新・改訂内容を基軸にした保育を普及・実践・展開することにより、職員の資質向上につなげ、さらに豊岡市の就学前教育・保育の質の向上に努めていきたい。

# 第3次とよおか教育プラン(豊岡市教育振興基本計画)

## 平成30年度実践計画検証総括シート

基本方針 1	夢実現力を育む教育の推進
基本的方向 5	特別支援教育の充実
	<p>特別支援学級のみならず、通常の学級に在籍するLD、ADHD等を含めた特別な支援が必要な子どもたちの能力や可能性を最大限に伸ばし、自立し社会参加するために必要な力を培うことが重要である。</p> <p>このため、インクルーシブ教育システム構築を見据えた障害のある子ども一人一人の教育ニーズに対応した「兵庫県特別支援教育第二次推進計画」に基づき、⑦発達特性の理解と早期からの一貫した支援、①共に学ぶことで豊かな人間性を育む交流及び共同学習、⑨保護者支援等に取り組む。</p>

### 〔指標の検証〕

指標名	H29現状値(目標差)	H31目標値(H29差)	H31指標の実現状況
<input checked="" type="checkbox"/> 学校に行くのが楽しくないと思う児童生徒の割合	小 11.8%(-6.8%)○ 中 17.0%(-3.0%)○	小 5%以下 中 14%以下	小 10.4%(-5.4%)○ 中 11.2%(+2.8%)○
<input type="checkbox"/> 豊岡市こども支援センターが、子どもたちの適切な支援の在り方について連携した学校園の割合	100%(±0%)○	100%	100%(±0%)○

- ・・・全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙を用いて評価を行う指標。
- ・・・各所管課の事業や独自調査などの結果により評価を行う指標。

#### ※ 全国学力・学習状況調査【平成30年4月17日実施】

国・公・私立学校の小学6年生と中学3年生を対象に実施する、国語、算数・数学、理科の教科に関する調査及び生活習慣や学習環境等に関する調査。(4月実施、7月結果公表)

※ H29現状値のうち、( )内は対H29目標差を、○印はH28現状値よりも改善した指標を表す。

※ H31目標値のうち、( )内は対H29差を表す。

※ H31指標の実現状況のうち、( )内は対H31目標差を、○印はH29現状値よりも改善した指標を表す。

教育委員会 (担当課)検証 (取組の継続等)	S 目標達成・取組完了 (目標達成、事業計画完了による取組終了)	検証委員検証 (担当課評価の妥当性)	○ 妥当
	A 継続実施 (拡充・現行方法による継続実施)		△ 疑義あり
	B 改善実施 (取組の改善・見直しによる継続実施)		— 評価不能
	C 抜本的見直し (取組を継続する場合は抜本的な見直しが必要)		
	D 取組廃止 (効果・必要性等から取組を廃止)		

【施策と取組の自己検証】

施策 ㉗ 発達特性の理解と早期からの一貫した支援	中間外部検証		年度末検証	所管課
	担当課	検証委員会	教育委員会	
1 豊岡市こども支援センターの機能の充実	A	〇〇〇	A	こども教育課
2 スーパーバイザー支援事業	A	〇〇〇	A	
3 教職員の専門性向上を目指した実践的研修の推進	A	〇〇〇	A	
4 卒業後までを見通した教育的支援・指導の引継ぎの推進	A	〇〇〇	A	
5 介助員並びにスクールアシスタントの効果的な活用	A	〇〇〇	A	
6 保育園等巡回相談の実施	A	〇〇〇	A	こども育成課

(施策における取組の総括: 担当課中間検証)

特別支援教育コーディネーター等全ての教職員の専門性の向上を目指し、特別支援教育に関する研修を通して、教職員の専門性の向上を図っている。豊岡市こども支援センターと各校園、関係機関が連携し、支援が必要な児童生徒等の早期発見と情報共有について迅速に対応している。

4～8月検査実施件数 55件 (29年度: 91件)

4～8月学校・園訪問件数 238件 (29年度: 522件)

施策 ㉘ 共に学ぶことで豊かな人間性を育む交流及び共同学習	中間外部検証		年度末検証	所管課
	担当課	検証委員会	教育委員会	
1 交流及び共同学習の推進	A	〇〇〇	A	こども教育課
2 市内特別支援学級の交流の実施	A	〇〇〇	A	

(施策における取組の総括: 担当課中間検証)

特別支援学級在籍の児童生徒の自立をめざし、交流及び共同学習や他校との交流会のねらいを明確にし、計画的、組織的に取り組んでいる。

施策 ㉙ 保護者支援	中間外部検証		年度末検証	所管課
	担当課	検証委員会	教育委員会	
1 就学前からの就学に向けた相談支援の充実	A	〇〇〇	A	こども育成課

(施策における取組の総括: 担当課中間検証)

就学に関する相談では、こども支援センターで、必要に応じて発達検査等も実施し、子どもの特性を理解したうえで、学校・園と保護者と相談しながら、個別の支援方法を提案している。

こども支援センターと健康増進課および支援室とで5歳児発達相談などの就学前児童の情報共有を図りながら、個別の支援が必要な児童への対応について学校園につなぎ、就学に向けて家庭を支援している。

施策⑦-5

全校園からの介助員、スクールアシスタントの配置希望児童・生徒数が540名にのぼっている現状に対し、配置数は市全体で47名というのが実態である。毎年、微増していただいていることに対して感謝の念でいっぱいだが、更なる増員をお願いしたい。

施策⑦

発達特性の理解と早期からの一貫した支援については、早期から継続して行うことの重要性を感じている。継続するうえで、こども支援センターの役割はとても大切であり、初めて受け入れる保育所・認定こども園に対して、関係機関からの情報提供をさらに充実させていただきたい。

非常に大切な支援施策であり、今後とも現状を踏まえながら推進していただきたい。

施策④-1

交流及び共同学習を実施していくためには、特別支援学級の担任だけではなく、通常学級の担任も一緒に研修していくことが重要だと思う。項目に挙げるのであれば、効果的な取組の実践の交流等が必要だと思う。

施策④

現場とのコミュニケーションを密にし、推進していただきたい。

施策⑤-1

こども支援センターとのつながりやどこで、できるだけ早期に発見するのかという連携のシステムはずいぶん構築されてきたと実感している。早期に子どもと保護者を一緒に支援していくことが大事である。

就学前の支援は、一生懸命取り組んでいただいております。非常に評価も高い。就学前の支援が小中学校につながる事ができている。現場とのコミュニケーションを密にして、推進していただきたい。

今後も特別な支援が必要な子どもたちの教育的ニーズに対応できるよう、特別支援教育支援員の配置を検討します。

保護者同意がある子どもについては、健康増進課から5歳児発達相談記録の情報提供を受けて、その後のこども支援センターの相談履歴に繋がります。  
(保護者同意有りの)健康増進課の情報を共有し、連携を図ることで、なお一層の早期発見・対応に努めていきます。

今後も学校の状況や特別な支援が必要な子どもたちの実態等を把握しながら、取組を継続していきます。

各校の交流及び共同学習が充実できるよう、取組を交流する場の実施等を検討します。

現場とのコミュニケーションを密にし、取組を推進していきます。

保護者の思いも受け止め、子ども一人一人の課題に応じた関わり方や支援の手立てを提案していきます。

訪問、相談依頼は年々増加しています。訪問実施方法等の検討・整理を行うとともに、教職員・支援員の力量、資質の向上をなお一層図ります。

〔基本的方向における総括・教育委員会年度末検証〕

特別な支援が必要な子ども達の能力や可能性を最大限に伸ばし、自立し社会参加するために必要な力を培っていけるよう、早期からの教育相談、支援・就学支援、就学後の適切な教育等に取り組んでいく。

# 第3次とよおか教育プラン(豊岡市教育振興基本計画)

## 平成30年度実践計画検証総括シート

基本方針 2	子どもたちの学びを支える仕組みの確立
基本的方向 1	学校園の組織力及び教職員の資質能力の向上
	<p>子どもの状況の変化や、保護者や社会からの要請が多様化・高度化する中で、学校園の組織力を向上させ、緊急・重大な事案等に教職員が一丸となって迅速に機動的にかつ的確に対応するとともに、子どもたちに夢実現力を育成する学校教育の専門家として保護者・地域に信頼される開かれた学校園づくりを進めることを視点とすることが重要である。また、教職員には、子どもたちに寄り添うことで、一人一人の個性や能力・可能性を伸ばし、育てるとともに、夢実現力の育成と様々な教育課題に適切に対応できるよう、資質向上に努め、心身の健康を保持することが求められている。加えて、体罰の防止にも取り組む必要がある。</p> <p>このため、⑦校園長のリーダーシップのもと教職員一人一人の力を組織的かつ機動的にいかしていく協働体制の確立、④いじめや暴力行為等の問題行動の未然防止、早期発見、早期対策、⑤授業力や多様な教育課題への対応力等教職員の資質と実践的指導力の向上等に取り組む。</p>

### 〔指標の検証〕

指標名	H29現状値(目標差)	H31目標値(H29差)	H31指標の実現状況
<input type="checkbox"/> 授業中に学習に対する児童生徒の興味・関心を高めるために、コンピューターや提示装置を活用して資料などを効果的に提示できる教職員の割合	小[H28]78.1%(+1.1%)○ 中[H28]73.0%(-5.0%)○	小 81%(+4%) 中 78%	小 [H29] 85.9% (+4.9%) ○ 中 [H29] 76.5% (-1.5%) ○
<input type="checkbox"/> 悩みを抱えたときに、誰にも相談しない児童生徒の割合	小 13.9%(-3.9%)○ 中 15.4%(-3.4%)	小 10% 中 12%	小 15.6% (-5.6%) 中 15.2% (-3.2%) ○
<input type="checkbox"/> 認知したいじめを解消させた割合	小・中[H28] 100%(±0%)○	100%	小・中 [H29] 100%(±0%)○
<input type="checkbox"/> 不登校児童生徒の割合	小[H28]0.48%(-0.01%)○ 【H28国平均 0.47%】 中[H28]4.02%(-0.88%) 【H28国平均 3.14%】	全国平均以下	小 [H29] 0.41% (+0.14%) ○ 【H29国平均 0.55%】 中 [H29] 3.59% (-0.21%) ○ 【H29国平均 3.38%】

■・・・ 全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙を用いて評価を行う指標。

□・・・ 各所管課の事業や独自調査などの結果により評価を行う指標。

※ 全国学力・学習状況調査【平成30年4月17日実施】

国・公・私立学校の小学6年生と中学3年生を対象に実施する、国語、算数・数学、理科の教科に関する調査及び生活習慣や学習環境等に関する調査。(4月実施、7月結果公表)

※ H29現状値のうち、( )内は対H29目標差を、○印はH28現状値よりも改善した指標を表す。

※ H31目標値のうち、( )内は対H29差を表す。

※ H31指標の実現状況のうち、( )内は対H31目標差を、○印はH29現状値よりも改善した指標を表す。

教育委員会 (担当課)検証 (取組の継続等)	S 目標達成・取組完了 (目標達成、事業計画完了による取組終了)	検証委員検証 (担当課評価の妥当性)	○ 妥当
	A 継続実施 (拡充・現行方法による継続実施)		△ 疑義あり
	B 改善実施 (取組の改善・見直しによる継続実施)		— 評価不能
	C 抜本的見直し (取組を継続する場合は抜本的な見直しが必要)		
	D 取組廃止 (効果・必要性等から取組を廃止)		

〔施策と取組の自己検証〕

施策 ㉞ 校舎長のリーダーシップのもと教職員一人一人の力を組織的かつ機動的にいかしていく協働体制の確立	中間外部検証		年度末検証	所管課
	担当課	検証委員会	教育委員会	
1 管理職研修の充実	A	〇〇〇	A	こども教育課
2 学校教育経営研修の充実	A	〇〇〇	A	
3 「学校における働き方改革」の推進	A	〇〇〇	A	

(施策における取組の総括:担当課中間検証)  
 多様な教育課題への対応力等、教職員の資質と実践的指導力の向上等に取り組む必要がある。このために、学校・地域・家庭の連携、学校と関係機関の連携の重要性は高まる一方である。そこで、教育活動のさらなる充実を図るために、教職員が時間的・精神的ゆとりを持って子どもたちと向き合う時間を確保できるよう、教育委員会として「学校における働き方改革推進方針」に基づき、各学校園をサポートし、取組を継続・充実させていく必要がある。

施策 ㉟ いじめや暴力行為等の問題行動の未然防止、早期発見、早期対策	中間外部検証		年度末検証	所管課
	担当課	検証委員会	教育委員会	
1 いじめの未然防止、早期発見・早期対応の充実	A	〇〇〇	A	こども教育課
2 小・中学校と関係機関との生徒指導に係る情報交換の推進	A	〇〇〇	A	
3 不登校対策の充実	A	〇〇〇	A	
4 相談支援事業の実施	A	〇〇〇	A	
5 「子どもの心を理解する強化月間」の充実	A	〇〇〇	A	
6 心理検査を活用した生徒指導の充実	A	〇〇〇	A	

(施策における取組の総括:担当課中間検証)  
 学校の組織力及び教職員の資質能力の向上が最重要課題である。また、悩みを抱える児童生徒・保護者が相談しやすい学校環境づくりを進めていく必要がある。そのため、各校や小中一貫各ブロックにおける取組の分析・検証・見直しを継続して進め、諸取組の内容に反映させていく。さらに、生徒指導担当者、不登校担当者等の参加による会議・研修等で、各校の実践交流と事例に対する対応策を協議し、その成果・提案等を各校に発信・啓発する取組の充実を図っていく。

施策 ㊱ 授業力や多様な教育課題への対応力等教職員の資質と実践的指導力の向上	中間外部検証		年度末検証	所管課
	担当課	検証委員会	教育委員会	
1 授業づくりと学級づくりの一体化の質的向上	A	〇〇〇	A	こども教育課
2 校内研修担当者研修の充実	A	〇〇〇	A	
3 教職員の研修ニーズに対応する研修の充実	B	〇〇〇	B	
4 初任者及び2年次・3年次研修の充実	A	〇〇〇	A	
5 豊岡市中学校教育研究会・教科部会の充実	A	〇〇〇	A	
6 児童生徒及び教職員のICT活用能力の向上	A	〇〇〇	A	
7 民間企業等における社会体験を行う「先生のトライやる」の実施	A	〇〇〇	C	
8 就学前の教育・保育計画「スタンダード・カリキュラム」や「すくすくプログラム—5つの育てたい力—」を基本にした就学前教育の充実	A	〇〇〇	A	こども育成課

(施策における取組の総括:担当課中間検証)  
 全国学力・学習状況調査の結果から、特に小学校算数に課題が見られることが明らかになった。そこで、11月を目途に校内研修担当者研修会を開催し、算数・数学科を中心にした「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」のポイントについて研修を深める予定である。  
 若手教職員の割合が高くなっている現状から、若手教職員の力量の向上を図ることが求められている。特に新採用から2・3年目の教職員を対象に、授業参観及び授業の事実に基づいた事後研修に取り組んでいる。  
 また、教職員が自ら学び続け、資質の向上に努められるよう研修内容の精選、充実を図っていく必要がある。



施策⑦-3

働き方改革については、定時退勤日やノー部活デー、ノー会議デーの完全実施とともに、さらに業務の改善や効率化を図るために何ができるのかを考えなければならない。

学校での超過勤務が減少することはなかなか難しいが、少しずつ意識が高まってきている。教育委員会には、校務支援システムの導入等、いろいろ支援してもらっているので、学校現場も働き方改革を進めていかなければならないと思っている。

施策⑦

この施策については、現場を知らない人間は評価できないと思う。現場の声を聞きながらの推進を期待する。

施策④-4

相談支援事業の実施について、スクールソーシャルワーカーを配置してもらっている。現在は家庭状況が複雑化し、対応が難しい状況にある。本校でも福祉的な関わりが非常に重要になってきている。しかし、学校現場は福祉という部分に疎く、どこにつなげばよいのか分からない。そういう意味でもスクールソーシャルワーカーの役割はとても大きい。ぜひ有効な支援になるために取組を進めていってほしい。

施策④

この施策においても、現場(学校)は努力を惜みず実施している。現場と話し合いながらの推進を期待する。

施策⑤-1、4、5

豊岡は小規模な学校が増え、1つの教科に1人の教員しかいないこともあり同じ学年や同じ教科を担当する教員同士が校内で相談できない現状がある。また、小規模中学校では、やむを得ず、免許外申請をする教科もある。その中で、教員の授業力を高めていくためには校内の研修だけでなく、学校間や教科間の交流をより推進していく必要がある。

施策⑥

学校の教員が年々若返っており、今後若手教員の育成が重要になると思っている。教育委員会も取り組んでいただいているが、学校でも組織的に若手教員の育成を図っていかなければならない。

常に現場(学校教職員)とのコミュニケーションを大切に実施していただきたい。

来年度、校務支援システムの運用が始まります。運用する中で、システムの効率的な活用の研究を進めていきます。

勤務時間の適正化のためには、効率化と業務改善の両面での取組が必要になります。「学校における働き方改革推進方針」に基づき、各学校園をサポートし、取組の継続・充実を図っていきます。

教育の今日的課題、学校現場の課題等を踏まえて、研修内容、取組の充実を図ります。

本年度は、スクールソーシャルワーカーを6中学校区に配置しました。今後も相談支援事業の充実を目指し、全中学校区への配置と支援の充実を図っていきます。

学校担当者会議・研修等で、各校の実践交流と事例に対する対応策の協議し、その成果等を各校に発信・啓発していきます。

小学校の「授業づくり学級づくり研究会」や中学校の「教育研究会・教科部会」等の取組を通して、学校間等の交流を図り、教職員の授業力を高めていきます。

各学校における教育課題に応じて、講師招聘等を行い、課題解決を図るための校内研修の充実を図ります。子どもの事実に基づいた指導力の向上を図ります。

学校の課題を把握しながら研修を進めていきます。

なお、「先生のトライやる(社会体験研修)」については、県教委主催の研修内容として取り組まれており、当初の目的が達成されたため、抜本的見直しを図ります。

[基本的方向における総括:教育委員会年度末検証]

子どもの状況の変化や、社会や保護者からの要請に対応するため、組織力を向上させ、機動的、かつ的確に対応する体制の強化を行うことができた。教職員には、教育の専門家として子どもたちに寄り添い、一人一人の個性や能力・可能性を伸ばし育てるとともに、さまざまな教育課題に適切に対応できるよう研修内容の充実を図った。

また、子どもと向き合う時間を確保するため、「学校における働き方改革推進方針」に基づき、教職員の意識改革と組織的な取組を推進した。

## 第3次とよおか教育プラン(豊岡市教育振興基本計画) 平成30年度実践計画検証総括シート

基本方針 2	子どもたちの学びを支える仕組みの確立
基本的方向 2	安全・安心な教育環境の整備
	子どもたちが安心して学校園生活を送るため、安全で質の高い教育環境の整備が重要である。 このため、⑦学校園及び給食センターの安全対策やICT環境等の教育環境の整備・充実、⑧様々な困難や課題を抱える子どもたちに対する教育の機会を確保するための就学支援等に取り組む。

### 【指標の検証】

指標名	H29現状値(目標差)	H31目標値(H29差)	H31指標の実現状況
<input type="checkbox"/> 中学校屋内運動場・武道場非構造部材等落下防止対策の実施率	0% 【0校】	100% 【9校】	33% (-67%) ○ 【3校】
<input type="checkbox"/> 中学校PCのタブレット導入	11% (±0%) 【1校】	100% (+89%) 【9校】	100% (±0%) ○ 【9校】
<input type="checkbox"/> 学校給食において地場産物(市内産の野菜)を使用する割合	30.2% (+0.2%) ○	30%以上	28.8% (-1.2%)

■・・・全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙を用いて評価を行う指標。

□・・・各所管課の事業や独自調査などの結果により評価を行う指標。

※ 全国学力・学習状況調査 【平成30年4月17日実施】

国・公・私立学校の小学6年生と中学3年生を対象に実施する、国語、算数・数学、理科の教科に関する調査及び生活習慣や学習環境等に関する調査。(4月実施、7月結果公表)

※ H29現状値のうち、( )内は対H29目標差を、○印はH28現状値よりも改善した指標を表す。

※ H31目標値のうち、( )内は対H29差を表す。

※ H31指標の実現状況のうち、( )内は対H31目標差を、○印はH29現状値よりも改善した指標を表す。

教育委員会 (担当課) 検証 (取組の継続等)	S 目標達成・取組完了 (目標達成、事業計画完了による取組終了)	検証委員検証 (担当課評価の妥当性)	○ 妥当
	A 継続実施 (拡充・現行方法による継続実施)		△ 疑義あり
	B 改善実施 (取組の改善・見直しによる継続実施)		— 評価不能
	C 抜本的見直し (取組を継続する場合は抜本的な見直しが必要)		
	D 取組廃止 (効果・必要性等から取組を廃止)		

〔施策と取組の自己検証〕

施策⑦ 学校園及び給食センターの安全対策やICT環境等の教育環境の整備・充実	中間外部検証		年度末検証	所管課
	担当課	検証委員会	教育委員会	
1 学校園施設等の定期的な安全点検及び整備	A	〇〇〇	A	教育総務課/こども育成課
2 非構造部材等落下防止対策の推進	A	〇〇〇	A	
3 ICT環境の整備	B	〇〇〇	B	
4 地産地消の推進と安全・安心な学校給食の提供	A	〇〇〇	A	教育総務課
5 食物アレルギーへの取組の推進	A	〇〇〇	A	
6 通学(園)路の安全点検と安全教育の充実及び関係機関・保護者・地域との連携強化	A	〇〇〇	A	こども教育課
7 通学(園)手段の確保	A	〇〇〇	A	

(施策における取組の総括:担当課中間検証)  
 施設の不具合に対して、緊急度の高いものから順次、対処してきた。それ以外のは経過年数、劣化状況等を判断し、計画的な改修に努めてきた。ICT環境においては、より使いやすい環境を整備することを検討していく。  
 今後も関係機関と連携し安全対策を図り、教育環境を向上させるため、定期的に点検し、計画的に改修、整備を行っていく。

施策⑧ 様々な困難や課題を抱える子どもたちに対する教育の機会を確保するための就学支援	中間外部検証		年度末検証	所管課
	担当課	検証委員会	教育委員会	
1 要保護・準要保護児童生徒への就学援助費の支給	A	〇-〇	A	こども教育課
2 特別支援学級在籍児童生徒への就学奨励費の支給	A	〇-〇	A	
3 実費徴収に係る補足給付事業の実施(保育所・認定こども園・幼稚園)	A	〇〇〇	A	こども育成課

(施策における取組の総括:担当課中間検証)  
 経済的理由による生活困難な家庭の児童に対しては、現内容を継続して実施する。

〔中間外部検証意見〕

〔年度末教育委員会検証〕

<p>基本的方向全般 各学校に1~2室を目安に、エアコンを整備してもらっている。大きな学校では対応しづらいこともあると思うが、早急な対応を期待したい。</p> <p>施策⑦-1 中学校において、今年の夏の酷暑の中でエアコンが整備された教室環境はとてもありがたかった。小学校への設置も早期に実施されることを希望する。</p> <p>施策⑦-3 ICT活用については、タブレットの導入で教員の授業法に広がりが見られることを期待している。実践交流や有効活用のための研修が必要である。</p> <p>施策⑦ 教育委員会事務局内との連携がカギとなる。現場とのコミュニケーションを大切に、推進いただきたい。</p> <p>施策⑧-1、2 現状がわからず、検証では「-評価不能」とした。</p>	<p>全小学校の普通教室・特別支援教室と空調設備のない幼稚園等の保育室に空調設備を整備し、2020年の夏までに全学校園で稼働を目指します。</p> <p>授業における効果的なICT利活用について、今後も実践的な研修を計画していきます。</p> <p>今後も学校と連携しながら、施策を推進していきます。</p> <p>市ホームページや教育委員会だよりなどを活用し取組内容の周知を図っていきます。</p>
--	--

〔基本的方向における総括:教育委員会年度末検証〕

<p>6月の地震に伴う高槻市立小学校のプールブロック塀の倒壊を受け、本市でも緊急点検し、早急な対策が必要と判断した学校園のブロック塀を撤去した。        全小中学校へのタブレット端末の導入が完了し、活用の推進や施設の整備、食物アレルギーへの対応など、子どもたちが安心して学校園生活を送るため、引き続き、計画的に安全で質の高い教育環境の整備に取り組む。</p>
--

# 第3次とよおか教育プラン(豊岡市教育振興基本計画)

## 平成30年度実践計画検証総括シート

基本方針 2	子どもたちの学びを支える仕組みの確立
基本的方向 3	家庭の教育力の向上
	<p>家庭は、教育の原点であり、家族のふれあいの時間を確保し、基本的なしつけを行うことにより、人間関係の基礎を形成し道徳性の芽生えを培うことや、食生活と睡眠を重視した規則正しい生活習慣を身に付けさせることが重要である。</p> <p>このため、㊦親が親として成長するための学びの機会の提供、㊧関係機関の連携による家庭教育への支援、㊨家庭における子どもが伸びる習慣づくりの実践等に取り組む。</p>

### 〔指標の検証〕

指標名	H29現状値(目標差)	H31目標値(H29差)	H31指標の実現状況
<input type="checkbox"/> はばたきメッセージを入学説明会等で活用した学校の割合	100%(±0%)○	100%	100%(±0%)○
<input type="checkbox"/> 子育て講座の実施	子育てセンター 4箇所を実施(-2箇所)	子育てセンター 6箇所を実施	子育てセンター 4箇所を実施(-2箇所)○

■・・・全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙を用いて評価を行う指標。

□・・・各所管課の事業や独自調査などの結果により評価を行う指標。

※ 全国学力・学習状況調査【平成30年4月17日実施】

国・公・私立学校の小学6年生と中学3年生を対象に実施する、国語、算数・数学、理科の教科に関する調査及び生活習慣や学習環境等に関する調査。(4月実施、7月結果公表)

※ H29現状値のうち、( )内は対H29目標差を、○印はH28現状値よりも改善した指標を表す。

※ H31目標値のうち、( )内は対H29差を表す。

※ H31指標の実現状況のうち、( )内は対H31目標差を、○印はH29現状値よりも改善した指標を表す。

教育委員会 (担当課)検証 (取組の継続等)	S 目標達成・取組完了 (目標達成、事業計画完了による取組終了)	検証委員検証 (担当課評価の妥当性)	○ 妥当
	A 継続実施 (拡充・現行方法による継続実施)		△ 疑義あり
	B 改善実施 (取組の改善・見直しによる継続実施)		— 評価不能
	C 抜本的見直し (取組を継続する場合は抜本的な見直しが必要)		
	D 取組廃止 (効果・必要性等から取組を廃止)		

〔施策と取組の自己検証〕

施策 ㉗ 親が親として成長するための学びの機会の提供	中間外部検証		年度末検証	所管課
	担当課	検証委員会	教育委員会	
1 はばたきメッセージを活用した家庭教育のあり方の充実	A	○○○	A	こども教育課
2 PTA活動の充実	A	○○△	A	
3 子育て家庭を対象とした子育て講座の実施	A	○○○	A	こども育成課
4 親子が交流できる機会の充実	B	○○○	A	
5 「とよおか家族の日」の関連事業の充実	D	○○○	D	生涯学習課

(施策における取組の総括: 担当課中間検証)  
 継続して、はばたきメッセージを活用した家庭教育支援に努める。  
 豊岡市PTA連合会と連携した取組を通して、各単位PTAの活動も活性化できるよう努める。  
 引き続き、全子育てセンターでの子育て講座の実施について事業調整等に努めるとともに、事業内容等について保護者の意見を参考に、よりニーズに合ったものを提供できるよう事業の充実を図る。  
 「とよおか家族の日」を通じた家庭教育の普及に対し、効果が見込めないため、来年度から廃止する。

施策 ㉘ 関係機関の連携による家庭教育への支援	中間外部検証		年度末検証	所管課
	担当課	検証委員会	教育委員会	
1 子育てに関する相談の充実	A	○○○	A	こども育成課
2 学校園と家庭児童相談室・こども家庭センターなどの関係機関との連携	A	○○○	A	

(施策における取組の総括: 担当課中間検証)  
 こども支援センターが調整機関となり、学校・園、健康増進課およびこども支援室等の関係機関と情報共有し、支援が必要な家庭等を関係機関と連携を図り役割分担をし、家庭を支援している。  
 家庭環境の多様化に伴う様々な子どもに関する相談に適切に対応するため、相談対応職員のアセスメント能力の向上を図るとともに、児童虐待等子どもの安全確保を図る必要がある場合は、県こども家庭センター、警察署と迅速に情報共有し対応する。

施策 ㉙ 家庭における子どもが伸びる習慣づくりの実践	中間外部検証		年度末検証	所管課
	担当課	検証委員会	教育委員会	
1 すくすくメッセージや紙芝居「めらとにんじやのしゅぎょう」を活用した乳幼児期の生活リズムの定着	A	○○○	A	こども育成課
2 「運動遊びパンフレット」「おでかけマップ」により、家庭や地域での運動遊び・外遊びの促進	A	○○○	A	
3 ブックスタートの推進	A	○○○	A	生涯学習課

(施策における取組の総括: 担当課中間検証)  
 生活リズムの定着については、子育てセンターでの各種事業等を通して啓発している。今後もその重要性を継続的、効果的に訴えていく。

基本的方向全般

4・5歳児で朝食抜き、22時就寝の幼児がいる。大人の都合に生活リズムが合わされている幼児もいて気になる。

そもそも家庭に問題があるケースだけでなく、認識不足のケースもあり、学校園の役目として、家庭に対しての情報発信のさらなる工夫が必要だと感じる。

施策⑦-2

市PTA連合会及び単位PTA活動の実態を把握したうえで、適切な指導ができる体制を作ることを期待する。

施策⑦-5

担当課(生涯学習課)の検証結果「D 取組廃止(効果・必要性等から取組を廃止)」を支持する。

施策⑧

「支援を必要とする児童や児童虐待」などは、大変難しい事案だと思うが、関係機関と綿密な協議を行っていただくことを期待する。

施策⑨

「三つ子の魂百まで」といわれるように、幼児期における生活習慣は子どもたちの一生を形づける大切な指針となると思う。この時期のいろいろなアプローチは非常に大事である。期待しているので、大いに推進してほしい。

各園では、生活チェックをしたり、睡眠の大切さを情報提供したりし、基本的な生活習慣の定着に向けた取組を実施しています。

引き続き、家庭と連携をとりながら、一人一人に生活習慣の定着を図れるよう努めます。

現在のPTAが求めていること、また求められていること等について、市PTA連合会等と意見交換し、連携協働が図れるよう努めます。

「とよおか家族の日」を通じた家庭教育の普及に対し、効果が見込めないため、来年度から廃止します。

県こども家庭センター・警察等と情報共有し、子どもの安否確認を最優先するとともに、一時保護等が必要な場合は、県こども家庭センターと連携して対応します。

主に子育てセンターの事業では、基本的な生活習慣の大切さなどを効果的に理解し、実践していただく事業内容を意識するなど、家庭教育の充実に資する交流の場、親育ちの場の提供に努めます。

また、ブックスタートでは、実施後、図書館でおはなし会を開催したり、子育てセンターの行事に参加して読み聞かせをしています。親子連れが集まる場所に出掛けて読み聞かせや図書の出借を体験する機会を増やすなど、絵本を身近に楽しく感じられるよう引き続き推進していきます。

〔基本的方向における総括:教育委員会年度末検証〕

関係機関と連携して子ども虐待の早期発見・対応を行うとともに、支援している子どもの支援課題の確認と支援の経過などの進行管理を恒常的に行っていく。

ブックスタートでは、対象者の99%以上に絵本を配布しており、子育てに絵本を取り入れるきっかけとなっている。読み聞かせが親子の触れ合いの時間として習慣付けられるよう、保護者の理解を深める働き掛けをしていく。

# 第3次とよおか教育プラン(豊岡市教育振興基本計画)

## 平成30年度実践計画検証総括シート

基本方針 2	子どもたちの学びを支える仕組みの確立
基本的方向 4	地域全体で子どもを育てる環境づくりの推進
	子どもたちが地域の中で多様な学びと交流による経験豊かな成長がかなえられるよう、学校園・家庭・地域が一体となって、地域全体で子どもたちの教育に取り組むことが重要である。 このため、⑦地域が主体的に学校運営に参画し、効果的な学校園支援活動を行うこと等地域ぐるみで子どもを育成する体制づくり、①学校園からの積極的な情報発信を踏まえた地域と学校園の緊密な連携等に取り組む。

### 【指標の検証】

指標名	H29現状値(目標差)	H31目標値(H29差)	H31指標の実現状況
■ 今住んでいる地域の行事に参加している児童生徒の割合	小 90.3%(-3.7%) 中 67.5%(-2.5%)	小 94% 中 70%	小 88.9% (-5.1%) 中 70.6% (+0.6%) ○
□ 土曜チャレンジ学習事業を実施する小学校の校区数	29小学校区(±0校区)	29小学校区	29小学校区(±0校区) ○
□ PTCAあいさつ強化月間の取組参加者数	5月 9,674人(-261人) 11月 9,777人(+430人)	前年度以上の参加者数	5月 9,692人(+18人) ○ 11月 10,093人(+316人) ○
□ 夏休みラジオ体操顔見知り運動中学生参加率	94.5%(-0.5%) ○ 【1,962人】	96%	95.1% (-0.9%) ○
□ 保育園待機児童数	56人(-56人) ○ 【H30.3.1現在】	待機児童なし	55人(-55人) ○ 【H31.3.1現在】
□ 放課後児童クラブ待機児童数	3人(-3人) 【H30.3.1現在】	待機児童なし	0人(±0人) ○ 【H31.3.1現在】

■・・・全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙を用いて評価を行う指標。

□・・・各所管課の事業や独自調査などの結果により評価を行う指標。

※ 全国学力・学習状況調査【平成30年4月17日実施】

国・公・私立学校の小学6年生と中学3年生を対象に実施する、国語、算数・数学、理科の教科に関する調査及び生活習慣や学習環境等に関する調査。(4月実施、7月結果公表)

※ H29現状値のうち、( )内は対H29目標差を、○印はH28現状値よりも改善した指標を表す。

※ H31目標値のうち、( )内は対H29差を表す。

※ H31指標の実現状況のうち、( )内は対H31目標差を、○印はH29現状値よりも改善した指標を表す。

教育委員会 (担当課)検証 (取組の継続等)	S 目標達成・取組完了 (目標達成、事業計画完了による取組終了)	検証委員検証 (担当課評価の妥当性)	○ 妥当
	A 継続実施 (拡充・現行方法による継続実施)		△ 疑義あり
	B 改善実施 (取組の改善・見直しによる継続実施)		— 評価不能
	C 抜本的見直し (取組を継続する場合は抜本的な見直しが必要)		
	D 取組廃止 (効果・必要性等から取組を廃止)		

〔施策と取組の自己検証〕

施策 ㊦ 地域が主体的に学校運営に参画し、効果的な学校園支援活動を行うこと等地域ぐるみで子どもを育成する体制づくり	中間外部検証		年度末検証	所管課
	担当課	検証委員会	教育委員会	
1 安全ボランティアによる見守り活動の継続及び活動支援	A	○○○	A	こども教育課
2 学校支援地域本部事業の推進	A	○○○	A	
3 土曜チャレンジ学習事業の推進	S	○○○	S	
4 子どもと心でつながる市民運動の推進	A	○○○	A	生涯学習課
5 仕事と子育ての両立支援	A	○○○	A	こども育成課
<p>(施策における取組の総括:担当課中間検証)</p> <p>安全ボランティアによる見守り活動、学校支援地域本部事業共に、ボランティアの確保が困難な状況にある。活動支援の在り方を再検討する必要がある。</p> <p>土曜チャレンジ学習事業は、地域コミュニティ等の地域団体の支援をいただき、当初計画のとおり実施できている。</p>				

施策 ㊩ 学校園からの積極的な情報発信を踏まえた地域と学校園の緊密な連携	中間外部検証		年度末検証	所管課
	担当課	検証委員会	教育委員会	
1 学校・家庭・地域の連携強化	A	○○△	A	こども教育課
<p>(施策における取組の総括:担当課中間検証)</p> <p>地域が子どもたちにとって多様な学びと交流による経験豊かな成長がかなえられる場であるよう、学校・家庭・地域の連携強化を進めることが重要である。HPや学校園便り等による情報発信、学校評議委員会や学校関係者評価など学校と地域との対話を重視した取組の継続が必要である。</p>				



〔中間外部検証意見〕

〔年度末教育委員会検証〕

施策⑦-1

「地域の安全ボランティア」との対話を大事にして、今後の方針を決定していただきたい。

施策⑦-1、2

安全ボランティアによる見守り活動や学校支援コーディネーター、学校支援ボランティアの協力は必要であるので、家庭、地域とも連携して人材確保に取り組んでいただきたい。

施策⑦-3

事業継続の要望があるようなので、事業計画終了後の市の関わりについて検討していただきたい。

施策⑦-5

保育所、放課後児童クラブの待機児童の解消は必須であろう。利用増及び利用者の多様な要望への対応で、保育士、指導員の不足が課題になっているが、「幼児教育の無償化」でますます保育士、幼稚園教諭の不足が心配される。

また、ファミリーサポートセンターの市民への周知と充実をお願いしたい。

保育所待機児問題はマスコミ等に取り上げられ、保護者にとって関心が高い問題だと思う。情報を積極的に公開し、今後の対策を明確にして、周知するべきであると思う。

施策⑧-1

子どもたちのために一番大切なトライアングル「学校・家庭・地域」であるが、「家庭」「地域」の教育力が低下している現在、PTAや地域と連携した「あいさつ運動」や児童生徒の地域・地区行事への参加がどれだけの効果があるのか。実態を把握したうえで、根本的な施策を検討すべきだと思う。

個票に「各学校園は、ホームページや学校だより等を活用し学校の取組を広く発信することやPTAや地域と連携した取組を推進することにより、家庭・地域との連携強化を図っている」とあるが、実態はどうであろうか。各学校園への調査を行い、現状把握をしたうえで、施策を構築するための方法を検討していただきたい。

学校を通して現状や課題を把握し、市としての取組や活動の充実に必要な支援を検討します。

学校園と協力し、PTA・地域コミュニティとも意見交換しながら、学校支援コーディネーター、学校支援ボランティアの人材確保を図ります。

学校外での子どもたちの学びの在り方について、他の社会教育事業の動向も踏まえ、社会教育全体としての在り方を検討します。

待機児童解消に向けて、次の取組を推進していきます。

- ・保育士等確保推進事業
- ・豊岡市における幼児教育・保育及び放課後児童のあり方計画策定事業

また、ファミサポについては、子育てセンターや縁むすびさん等の市の他事業でPRしたり、非会員(会員の友人)も参加可能な交流会等を開催し口コミによるPRや会員登録を図ったりし、周知していきます。

市ホームページなどの媒体を通じて情報発信を行います。

「家庭」「地域」との連携の維持・強化では、継続して取り組むことが重要であります。実態を踏まえ、何をどのように継続していくか検討します。

また、教育委員会事務局で「学校だより」やホームページの更新状況等を定期的に確認し、現状把握に努めます。

〔基本的方向における総括:教育委員会年度末検証〕

「あいさつ運動」や「見守り活動」など、取組としては定着してきているが、地域全体の取組とするための工夫は必要である。そのことも踏まえ、学校園からの情報発信の内容や方法を工夫していく。

また、学校支援の在り方では、学校園の現状把握、意見集約を行うとともに、学校支援ボランティアの確保・充実に向けた取組を検討する。



## IV 外部有識者の総評

## 1 平成 30 年度教育委員会活動について

### (1) 総括意見

教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価は、効果的な教育行政の推進、また、より分かりやすく市民に対する説明責任のために行うものである。この点において、平成 30 年度は、前年度に新制度による教育長の任命が行われ、教育長と 4 人の委員から組織された教育委員会が円滑かつ具体的に事務を執行したといえる。すなわち、教育委員会会議は原則毎月 1 回の教育委員会定例会を 12 回、そして緊急的な協議議題があり必要に応じて開催する教育委員会臨時会は 6 回と、合計 18 回開催で前年度よりも 4 回多く開催されたが、議案審議内容及び開催状況、また審議案件等一覧を精査するに問題なく適切である。

なお、総合教育会議を 2 回開催のほか、教育懇談会も開催している。とりわけ、教育懇談会において、小規模校の抱える課題とその対応策について児童数 50 名以下の小学校 9 校の代表者と教育委員が意見交換したことは、平成 30 年度で特筆できよう。今後は、さらなる猛暑対策としての空調設備工事といわゆる「働き方改革」に向けた教職員の勤務時間の適正化を進めることが肝要である。

### (2) 豊岡市の教育に求められるもの

市内全ての公立小中学校で小中一貫教育が実施されて 2 年目となった平成 30 年度は、各一貫ブロックがめざす子ども像を共有し、全ての中学校区において実効性のある小中連携教育以上の小中一貫教育が求められた。カリキュラム・マネジメントの PDCA サイクルのもとで、特に C-A のつながりを大切にして子どもの姿を中心に、教師や保護者・地域と共に評価・検証・改善を進めることが求められる。

また、全国的に児童数が減少している近年、豊岡市においてもこれまで以上の減少の想定を念頭に、今後の教育上の課題に、適切に対応を考慮する必要がある状況を理解する時期にきていることの認識が必要と考える。前述したような小規模校の現状を把握し、その認識を深める機会として、児童数 50 名以下の小学校 9 校の代表者と教育委員が小規模校の抱える課題とその対応策について意見交換したことは有意義であった。

今後は、今年度の小規模校の訪問による地域学習会をさらに押し進め、施設一体型小中一貫校等々の新たな施策も視野に入れ、教育活動の質的向上に資する在り方を考えるべきである。また、前年度に引き続き、市内の各保育園、幼稚園、認定こども園の 4・5 歳児クラスを対象に英語遊び指導員の定期的派遣による英語遊び保育が実施されている。確かに、子どものいきいきとした表情による参加が見られているが、一層の小学校との外国語活動や英語教育との円滑な接続、ま

た効果的な指導内容や指導方法の工夫改善を期待したい。

## 2 平成 30 年度教育施策の取組について

### (1) 成果があった取組について

「あたまの力」の育成は、全国学力・学習状況調査の結果は概ね良ではあるが、全ての教科ではない現状である。したがって、小中一貫教育において、9年間で体系的に「主体的・対話的で深い学び」での比較・分類・関連付け等による授業改善を図る必要がある。

「こころの力」の育成は、体験を重視した活動、道徳教育、人権教育、環境教育、防災教育等、前年度同様確実に成果を上げている。今後の美術展の開催や参加型演劇の開催等の文化的な振興事業に期待したい。

「からだの力」の育成においては、全国体力・運動能力等調査の結果等を踏まえた体力・運動能力の向上、望ましい食習慣の形成を図る食育、心身の健康課題に適切に対応する健康教育の全てで、前年度同様確実な成果を上げた。

### (2) 改善や見直しが必要な取組について

「あたまの力」の育成は、授業を核にした小中一貫教育の充実に係る研究の推進のみが「B」である。全国学力・学習状況調査はA問題とB問題の区別がなくなる来年度から新たな指標による検証が必要と考える。調査結果も踏まえ、さらなる授業改善と創意工夫を図りたい。

「こころの力」の育成は、グローバル化に対応した教育の諸外国との友好親善交流の実施が「B」である。友好親善の方策は様々であるが、グローバル化に対応した教育の内実を吟味・検討し、豊岡市の子どもに必要な実施形態や方法を考えることが重要である。

### (3) 今後の教育施策の取組について

子どもたちの学びを支える仕組みの確立において、基本的方向3の⑦-5「とよおか家族の日」の関連事業の充実は、中間外部検証の担当課は「D」で検証委員会は「〇〇〇」、年度末検証の教育委員会は「D」である。そして、効果が見込めないため、来年度からは廃止するとされている。同じく、子どもたちの学びを支える仕組みの確立において、4の⑦-3土曜チャレンジ学習事業の推進は、中間外部検証の担当課は「S」で検証委員会は「〇〇〇」、年度末検証の教育委員会は「S」である。これは、地域コミュニティ等の地域団体の支援をいただき、当初計画のとおり実施できている、としている。前者には論拠はないが、結論はある。後者は根拠明快な上で、結論がある。教育施策の取組は、根拠を明らかにしながら市民に明確に示すよう努めたい。

令和元年度

## 教育委員会の点検・評価報告書

(平成30年度事業分)

発行 令和元年6月

編集 豊岡市教育委員会 教育総務課

〒668-8666

兵庫県豊岡市中央町2番4号

豊岡市役所本庁舎6階

TEL 0796-23-1117

FAX 0796-24-4669